液晶テレビ Uniden

取扱説明書

地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン液晶テレビ

品番 TL20DX11 TL27DX1 TL32DX11 TL37DZ1 TL42DZ1

はじめに
準備する
テレビを見る
各種設定のしかた
ご参考

※画面はハメ込み合成です。

このたびはユニデン液晶テレビをお買い上げいただきありがとうございます。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、配送時の伝票と共に大切に保管してください。

最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。
http://www.uniden.jp/

ご使用になる前に

本機で受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送

地上波の UHF 帯の電波を使って行われるデジタル放送です。高品質（ゴーストや雑音のない）・高画質の映像を楽しむことができます。関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログテレビ放送は 2011 年までに終了することが国の法令によって定められています。

BS デジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行われるデジタル放送で、高画質・ワイド画面のハイビジョン放送などが特長です。BS 日テレ（日本テレビ系列）、BS 朝日（テレビ朝日系列）、BS-i（TBS 系列）、BS ジャパン（テレビ東京系列）、BS フジ（フジテレビ系列）などは無料放送を行っています。WOWOW などの有料放送を視聴するには、加入申し込みと契約が必要です。
また 2007 年 12 月からは、BS11（イレブン）デジタル、TwellV（トゥエルビ）の 2 チャンネルが開局されました。

110 度 CS デジタル放送

通信衛星（Communications Satellite）を使って行われるデジタル放送で、ニュースや映画、ドラマ、スポーツ、音楽などの専門チャンネルが数多くあります。ほとんどの放送は有料となりますので、放送事業者への加入申し込みと契約が必要です。

地上アナログ放送

現在行われている VHF/UHF 帯のテレビ放送です。2011 年 7 月 24 日までに放送を終了することが国の法令によって定められています。

ご使用になる前に（つづき）

地上・衛星デジタル放送の受信方法について

アンテナでご視聴の場合

地上デジタル放送を受信するためにはUHFアンテナが必要です。現在お使いのアンテナがUHFまたはUHF/VHF混合アンテナの場合はそのまま使用できる可能性があります。また、UHFアンテナの向きの変更が必要な場合があります。
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送などの衛星放送を受信するためには、専用アンテナを設置し、取付方向や角度を正しく衛星に向けて調整する必要があります。

詳細については、お近くの電器店やアンテナ設置業者にご相談ください。
詳しくは18ページをご覧ください。

ケーブルテレビでご視聴の場合

ご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。詳しくは20ページをご覧ください。

マンションなど集合住宅の場合

お住まいの共調設備が地上デジタル・衛星デジタル放送に対応しているか、管理組合または管理会社等にお問い合わせください。

B-CASカードについて

デジタル放送を見るには本機に付属のB-CAS（ビーキャス）カードが必要です

■ B-CASカードの取り扱いについて

- カードの説明書の文面をよくお読みください。
- カードを挿入しないと、著作権保護されたデジタル放送は視聴することができません。
- カードは常時挿入しておいてください。
- カードを紛失、破損したり、盗難にあったときは、㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターにご連絡ください。（カード台紙に記載されています。）

もくじ

第１章

はじめに

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	**火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。**
⚠注 意	**けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。**

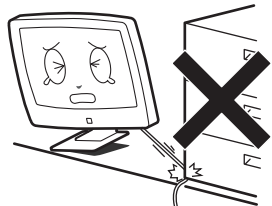
絵表示の説明

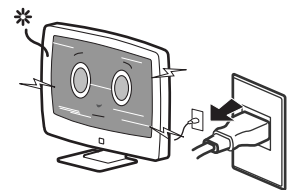
注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
一般的注意	禁　止　分解禁止　ぬれ手禁止	一般的指示　電源プラグを抜く

⚠警 告

電源コードを傷つけないでください 火災・感電などの原因となります

- 設置時に、製品と壁や床などの間に挟み込んだりしないでください。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。
- 電源コードを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

破損したり、異常が発生した場合は 電源プラグを抜いてください 火災・感電などの原因となります

- 落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

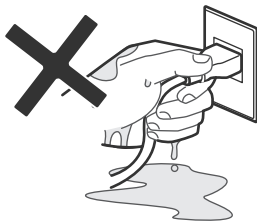
電源プラグにホコリなどが付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

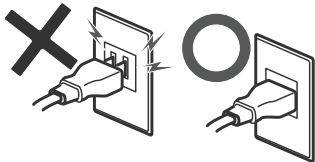
ほこりを取る

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

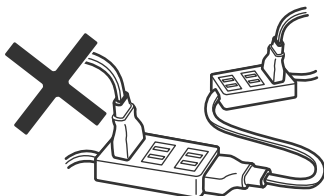
・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグは確実に差し込んでください

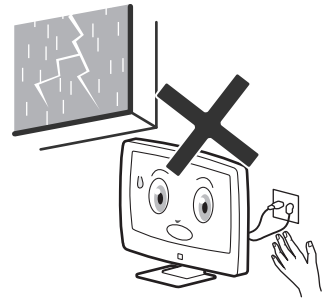
・差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

タコ足配線をしないでください

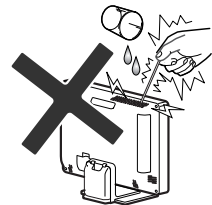
・火災や感電の原因となることがあります。

禁　止

雷が鳴り出したら、テレビやアンテナ線、電源プラグに触れないでください

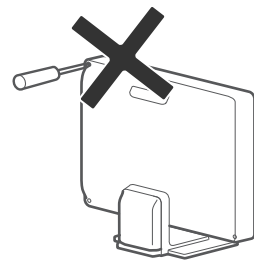
・感電の原因となります。

接触禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり入れたりしないでください

・火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐ電源を切り、電源プラグを抜いてください。

禁　止

本機の裏ぶたをはずしたり、改造したりしないでください

・内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。

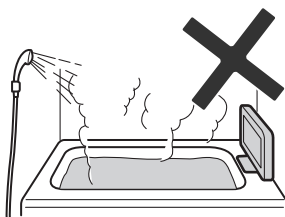
分解禁止

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

不安定な場所に置かないでください

・落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

浴室やシャワー室では使用しないでください

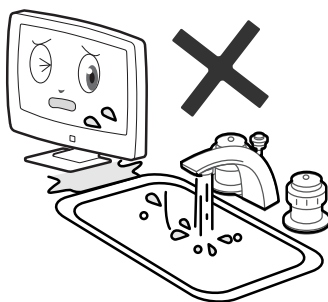
・本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。

水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

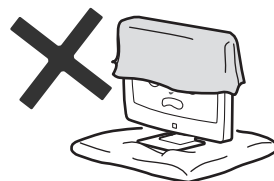
・火災、感電の原因となることがあります。

火のついたろうそく、蚊取り線香、タバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください

・変形や火災のおそれがあります。

重いものを置いたり、乗ったりしないでください

・落下・転倒してけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

風通しの悪い所、密封した箱の中、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけないでください

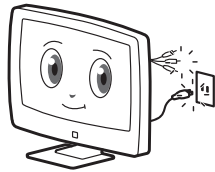
・内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

近く、または上に花瓶など水の入ったものを置かないでください

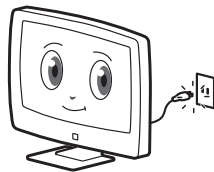
・水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。

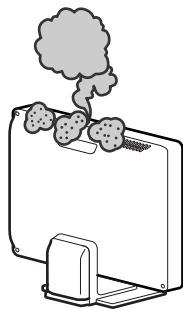
安全上のご注意（つづき）

⚠注 意

移動するときは、接続されている線をすべてはずしてください

・コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

お手入れや長時間使用しないときは電源プラグを抜いてください

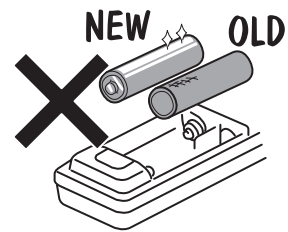
・感電や火災の原因となることがあります。

通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください

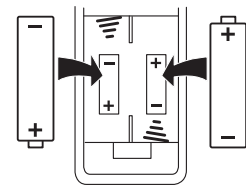
・火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えないでください

・液晶パネルが割れて、けがの原因となることがあります。

■リモコンの取り扱いについて

指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

電池の＋と－の向きを正しく入れてください

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

アルカリ電池の液が漏れた場合は素手で触らないでください

・皮膚の炎症、失明やけがの原因となることがあります。

※使用済み電池の処分について

・使用済みの電池は地域の規則に従って処分してください。

使用上のお願い

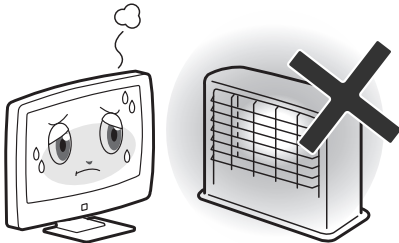
守っていただきたいこと

国外では使用できません

・この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送形式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

設置について

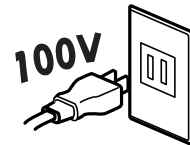
・発熱する機器の近くには本機を置かないでください。

・本機の上には物を置かないでください。

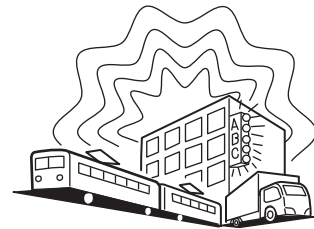
・不安定な場所や湿気の多い所に置かないでください。

・窓際に置く場合は、雨や雪などで濡らさないようご注意ください。

電源・電圧について

・指定（AC100V 50/60Hz）以外の電源は使わないでください。
指定以外の電源を使用した場合は故障の原因となります。

・電源コードは、必ず付属品をお使いください。

アンテナについて

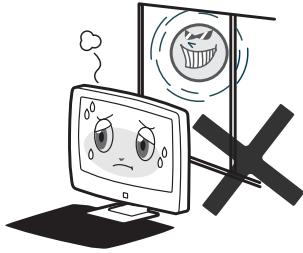
・妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
万一、アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

・アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。

・アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検・交換を心がけてください。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが痛みやすくなります。
映りが悪くなったときは、設置店へお問い合わせください。

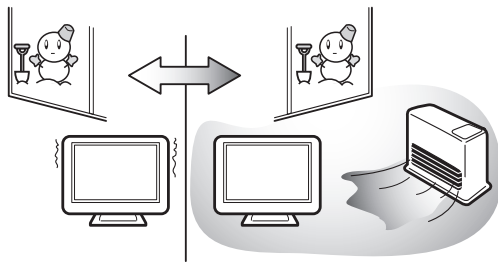
使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

直射日光や熱気を避けてください

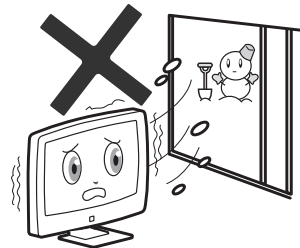
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。

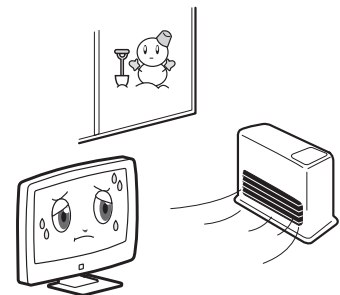
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

・急激な温度変化が起こる部屋（場所）でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

・ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが故障ではありません。常温に戻れば回復します。

・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。

使用温度：0℃～＋40℃

結露について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などでは、表面や内部に結露（水滴が付着）が発生することがあります。そのままご使用になると故障の原因となりますので、結露が起きた時は結露がなくなるまで電源プラグをコンセントに接続しないでください。

使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

電磁波妨害に注意してください

・本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

キャビネットのお手入れのしかた

・お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

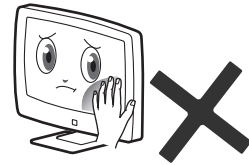
・汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。

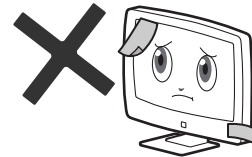
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。

・キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

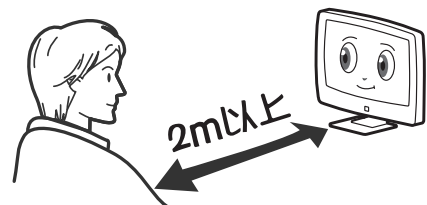
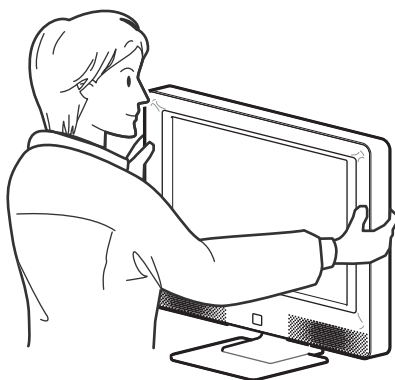
取り扱い上のご注意

・液晶パネルを強く押したりしないでください。割れることがあり危険です。
また、落としたり強い衝撃をあたえないようにしてください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

・キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

テレビを見るときは、テレビから2 m以上離れた位置でご覧ください

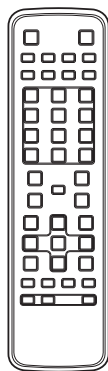
・目がちかちかするときは、画面から遠ざかってください。

・目のけいれん、頭痛やめまいを感じたら、テレビを見ることを中止してください。

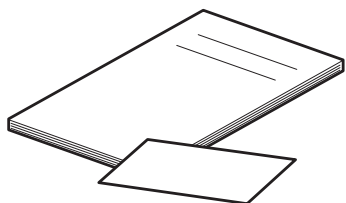
第２章

準備する

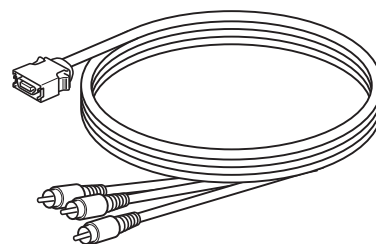
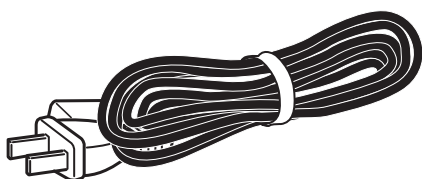
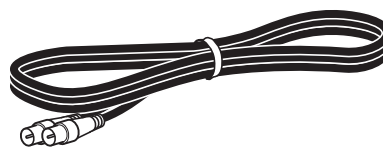
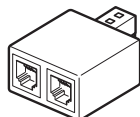
付属品

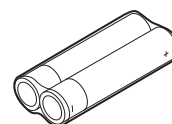
下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

リモコン（1 個）

B-CAS（ビーキャス）カード（1 枚）

※本機には赤色の B-CAS カードが
付属しています。
（必ず本機付属のものをお使いください。）

取扱説明書・保証書（各 1 部）

※保証書にはお買い上げ日をご記入の
うえ、大切に保管してください。

D 端子変換ケーブル（1 本）

電源コード（1 本）

アンテナケーブル（1 本）

モジュラー分配器（1 個）

電話機コード（1 本）

単 4 乾電池（2 個）

※この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

各部のなまえ（リモコン）

音声切換ボタン 39ページ
音声（主・副）を切り換えます。

入力切換ボタン 44ページ
映像・音声入力を切り換えます。

映像切換ボタン 40ページ
見ている番組がマルチビュー放送の
場合、ボタンを押すごとに映像が
切り換わります。

オフタイマーボタン 43ページ
設定した時間経過後に電源が切れます。

地上ボタン 32ページ
地上放送を見るとき押します。
押すたびに地上アナログ・地上デジタル
放送が交互に切り換わります。

消音ボタン 32ページ
一時的に音を消します。
もう一度押すと解除されます。

音量（＋/－）ボタン 32ページ
音量を調節します。
押し続けると連続で変えられます。

番組表ボタン 34ページ
電子番組表を表示します。

決定ボタン 48ページ
メニュー設定で選択項目を確定する
ときに使います。

戻るボタン 41ページ
データ放送で前の選択項目へ
戻るときに使います。

連動データ（d）ボタン 41ページ
地上デジタル・BS/CS放送において
データ放送へ切り換えます。

番組情報ボタン 35ページ
地上デジタル・BS/CS放送において
現在視聴している番組の詳細情報を
表示します。

字幕ボタン 38ページ
字幕の表示、非表示を切り換えます。

電源ボタン 32ページ
電源を入/切します。

画面表示ボタン 37ページ
チャンネル・音声モードの
表示方法を選択します。

３桁入力ボタン 33ページ
衛星放送の３桁チャンネル番号を
入力して選局します。

ＢＳ/ＣＳボタン 32ページ
衛星放送を見るとき押します。
押すたびにBS⇔CSのように放送が
切り換わります。

数字ボタン 32ページ
チャンネルを選局するときに
使います。

選局ボタン 32ページ
チャンネルを選択します。
押し続けると連続で変えられます。

メニューボタン 48ページ
メニュー設定画面を表示させます。

カーソルボタン 48ページ
メニュー設定項目を選択する
ときに使います。

ワイドボタン 42ページ
テレビ画面をパノラマ表示や
ズーム表示などに切り換えます。

カラーボタン 34ページ
（青/赤/緑/黄）
電子番組表、データ放送で動作を
選択するときに使います。

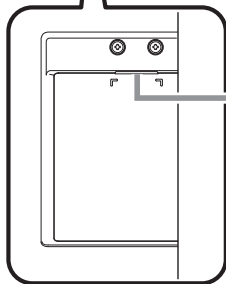
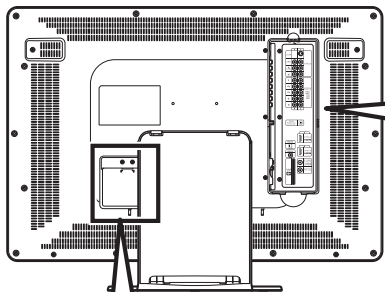
画面メモボタン 42ページ
ボタンを押したときに表示されて
いた映像を静止画として記憶し、
画面に表示します。

各部のなまえ（本体）

本体/リモコンボタン対応表

本体のボタンはリモコンの各ボタンと同じはたらきをします。

※本体の**VIDEO**ボタンではテレビ放送も切り換えることができます。

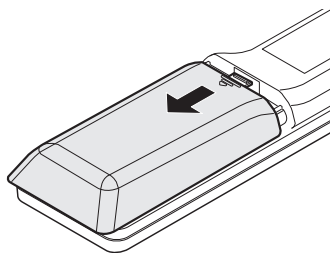
本体	− +	MENU	⏻	VIDEO	▲ ▼
リモコン	+ 音量 −	メニュー	電源	入力切換	▲ 選局 ▼

※機種により端子位置が本イラストと異なりますが、配列はすべて同じです。

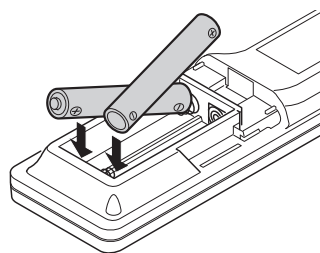
準備する

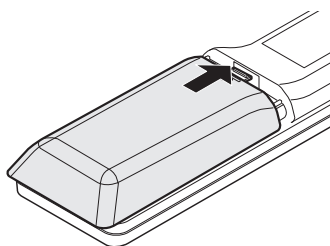
リモコンの準備と使いかた

乾電池の入れかた

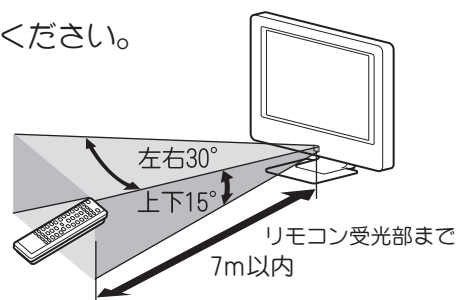
1 カバーをあけます

⚡ の部分を押しながら、カバーを
下方にスライドさせます。

2 乾電池を入れます

単4乾電池2本をケース内の表示通りに
入れてください。
（⊕、⊖の位置を正しく入れてください。）

3 カバーを閉めます

パチンと音がするまでカバーを
上方へスライドさせます。

使いかた

- リモコンの先端部を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
  リモコンの操作範囲は本体正面よりおよそ7メートル以内で、
  本体正面より左右30°以内、上下15°以内です。

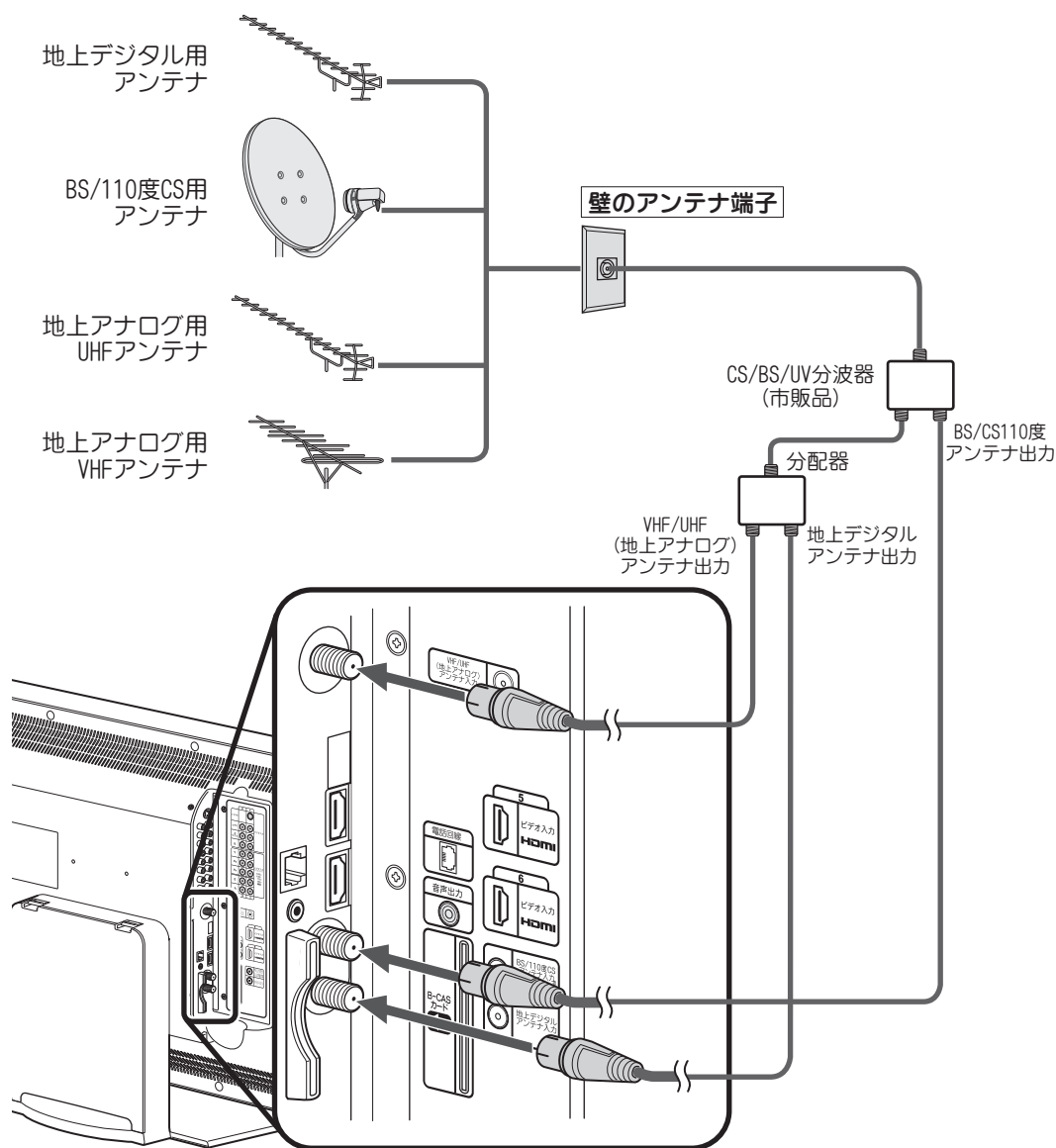
- リモコン操作でテレビが動作しない場合（テレビ本体の
  ボタンでは動作する）は、リモコンの乾電池寿命が
  考えられます。新しい電池に交換してください。
- リモコンを直射日光の当たる場所に放置したり、取り付けないでください。
  熱により変形したり、誤動作する場合があります。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。
  照明またはテレビの向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
- リモコンに強い衝撃を与えないでください。
  また、水にぬらしたり温度の高いところに置かないでください。
- 使用済み電池の処分について
  使用済みの電池は地域の規則に従って処分してください。

アンテナを接続する

アンテナケーブル・分配器などを使用するアンテナに応じて接続し、本機のアンテナ入力端子に接続してください。

本機裏面パネル部には次の3つのアンテナ入力端子があります。

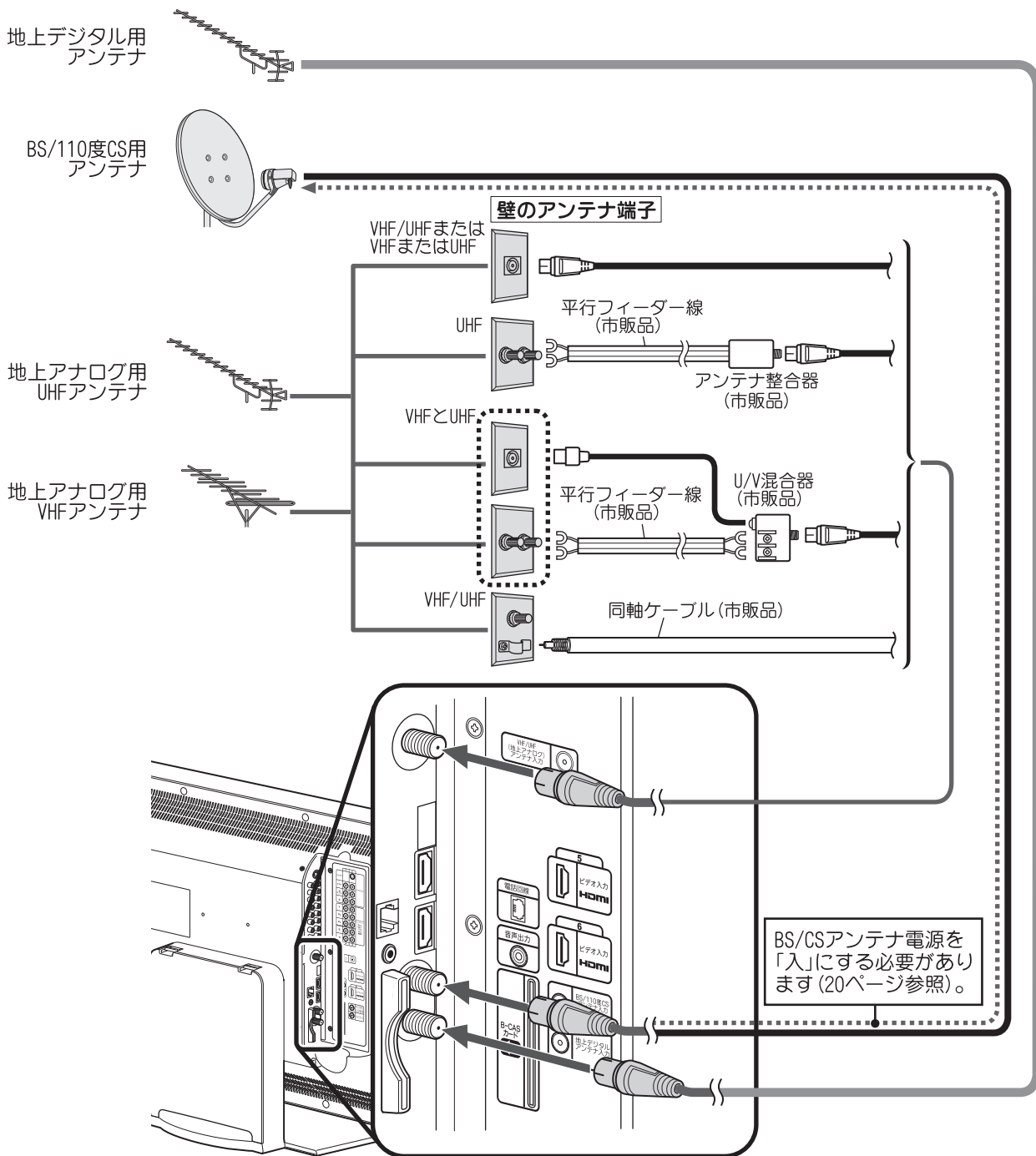
アンテナ入力端子の種類	接続するアンテナ	使用するアンテナ
VHF/UHF（地上アナログ）アンテナ入力端子	VHF および UHF 放送受信用アンテナと接続します。	VHF、UHF、UHF/VHF 混合アンテナ
地上デジタルアンテナ入力端子	地上デジタル放送受信用アンテナと接続します。	地上デジタル放送対応 UHF アンテナ
BS/110 度 CS アンテナ入力端子	BS/110 度 CS 放送受信用アンテナと接続します。	BS/110 度 CS 放送受信用アンテナ

■VHF/UHF、BS/110 度 CS 混合タイプ（集合住宅など）の接続例

注： 下記は一例です。
受信可能な放送はお住まいの集合住宅により異なります。

ご注意

- 受信可能な放送はお住まいの集合住宅により異なります。詳しくは管理会社または管理組合にお問い合わせください。

アンテナを接続する（つづき）

■VHF/UHF、BS/110度CS個別アンテナの接続例

※地上・衛星デジタル放送の受信レベルの確認はメニュー画面で行います（57ページ）。

※衛星放送用の個別アンテナを使用する場合は、衛星アンテナ電源を「オン」にする必要があります。
詳しくは次ページの「BS/CSアンテナのアンテナ電源について」をご覧ください。

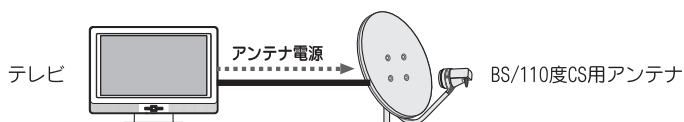
※CATV放送を受信する場合はお使いのCATVセットトップボックスの説明書に従い接続を行ってください。ご不明な点はご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

アンテナを接続する（つづき）

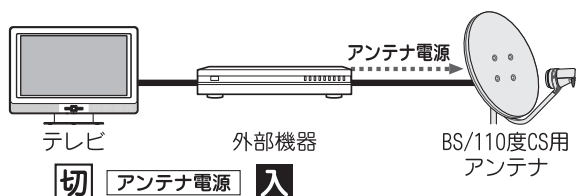
BS/CS アンテナのアンテナ電源について

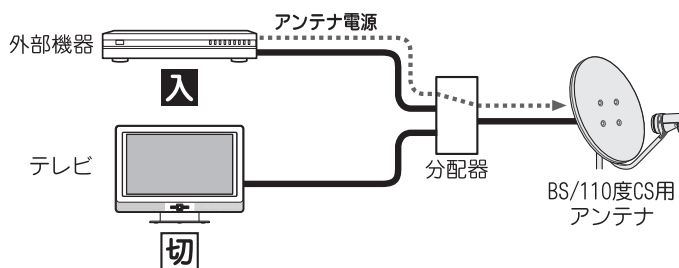
BS/CS アンテナを個別に設置している場合は、アンテナへの電源供給が必要です。下記の接続例を参考に BS/CS アンテナ電源の設定を行ってください。設定のしかたは「BS/CS アンテナ電源」（☞64 ページ）をご覧ください。

テレビに直接アンテナを接続する場合

テレビからアンテナに電源を供給します。

アンテナ電源　入

外部機器を介してアンテナを接続する場合

外部機器からアンテナに電源を供給します。

分配器を介してアンテナを接続する場合

電流通過端子を外部機器側にして、外部機器からアンテナに電源を供給します。

● 地上・衛星デジタル放送受信アンテナについて

地上・衛星デジタル放送を受信するためには UHF アンテナやパラボラアンテナが必要です（☞18 ページ）。

設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、発信基地が遠距離のため電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。

電器店やアンテナ設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。

地上アナログ受信用とは別に、地上デジタル受信用のアンテナを設置するときや、衛星放送受信用のパラボラアンテナを設置するときは、電器店やアンテナ設置業者等とご相談のうえ、アンテナを設置してください。

本機を設置・設定後、アンテナの受信レベルを確認することができます。
詳しくは「アンテナレベル」（☞57 ページ）をご覧ください。

画像が映らない、または乱れるなどの問題がある場合は、「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞73 ページ）のフローチャートにしたがって、アンテナの準備や調整などを行ってください。
または、「故障かな？と思ったら」（☞74 ページ）をご覧ください。

● きれいな画像をお楽しみいただくために

安定したデジタル映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

・本機の VHF/UHF アンテナ入力端子、地上デジタルアンテナ入力端子への接続は、付属のアンテナ接続ケーブルまたは市販の 3C-2V 以上のアンテナ接続ケーブルをお使いください。また、BS/110 度 CS アンテナ入力端子への接続は市販の 3C-FB ケーブル以上の BS/CS 専用ケーブルをお使いください。
・アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

● CATV での受信について

CATV 受信にはいくつかの方式があります。本機は「同一周波数パススルー方式」および「周波数変換パススルー方式」に対応可能です。詳しくはご契約の CATV 会社にお問い合わせください。または、「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞73 ページ）のフローチャートにしたがってお確かめください。

B-CASカードを挿入する

デジタル放送を視聴するには、本機に付属のB-CAS（ビーキャス）カードが必要です。

1 B-CASカードを取り出します

付属のB-CASカードを台紙から取り出します。

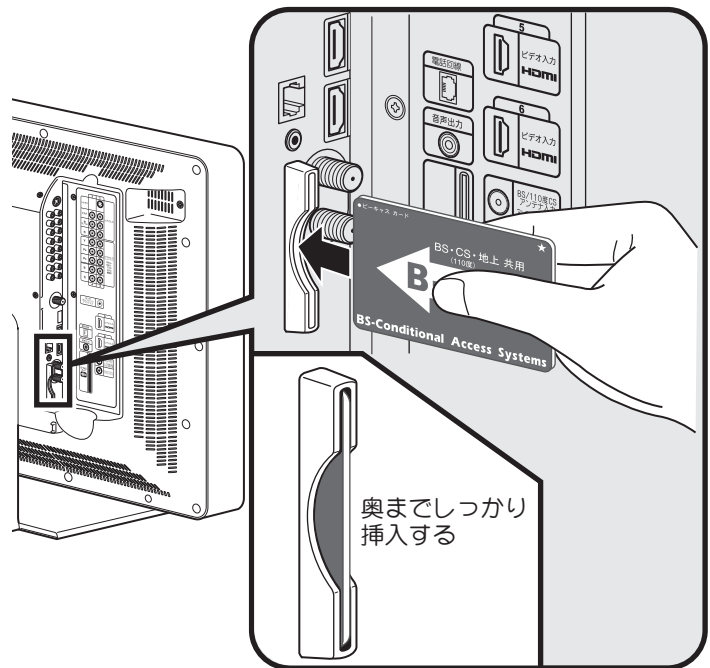
B-CASカードのパッケージを開封すると、パッケージに添付されている契約約款に同意したものとみなされます。開封前に必ず契約約款をお読みください。

ご注意

- 本機付属のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。
- B-CASカードは奥まで挿入してください。
- ご使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、B-CASカードの交換が必要となる場合があります。詳しくは77ページをご覧ください。

2 B-CASカードを挿入します

背面のスロットに付属のB-CASカードを差し込みます。

図のように矢印のある印刷面を左側にし、矢印の先端を先にして奥まで挿入してください。

3 B-CASカードの登録をします

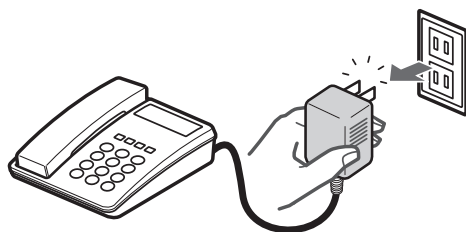
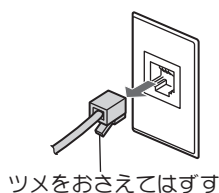
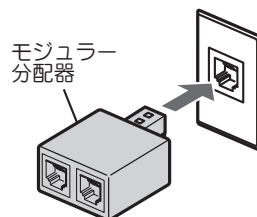
B-CASカードが貼ってあった台紙に記載された内容に従い、B-CASカードの登録を行ってください。

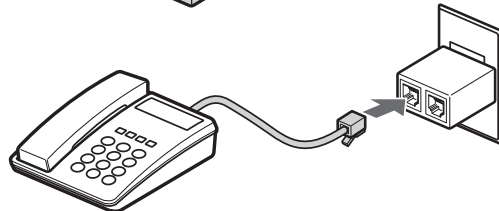
■B-CASカード取り扱い上の注意点

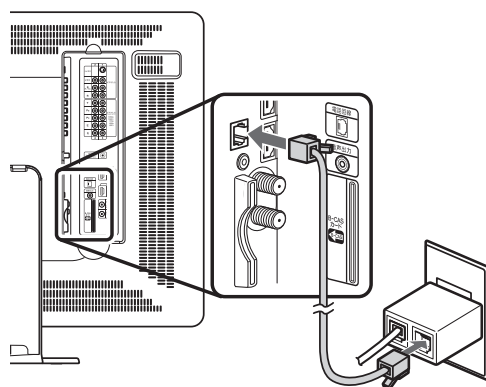
- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

電話機コードを接続する

電話回線は、デジタル放送の双方向サービス（クイズ番組への参加や通販番組での商品購入など）を利用する場合に使用します。地上デジタル放送では、番組によっては双方向サービスに電話回線によるダイヤルアップ通信を使用することがあります。これらのサービスを使用しない場合は、電話機コードを接続する必要はありません。

1 電話機の電源コードをコンセントから抜きます

2 電話機コードをモジュラーコンセントから抜きます

3 付属のモジュラー分配器をモジュラーコンセントに差し込みます

4 電話機をモジュラー分配器につなぎます

モジュラー分配器の一方に電話機コードを差し込みます。

5 モデムをモジュラー分配器につなぎます

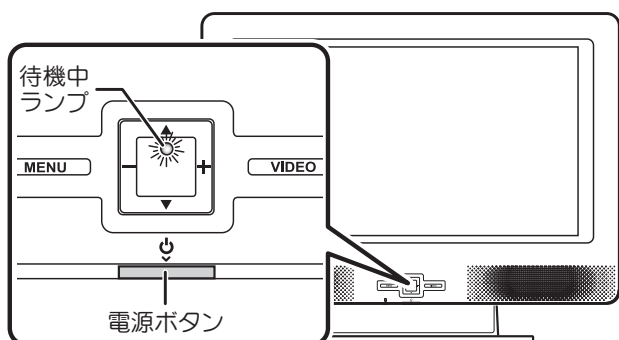
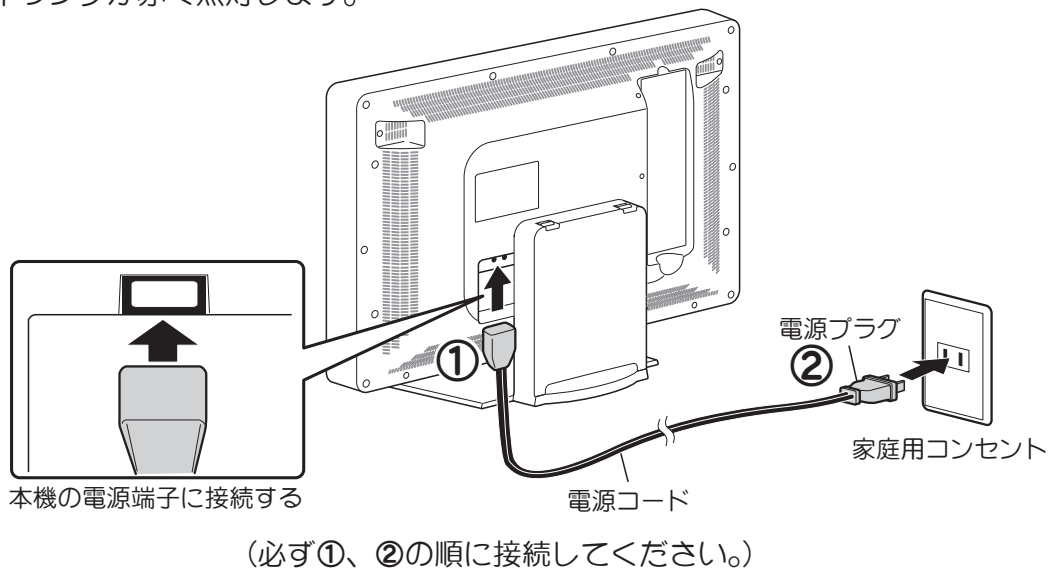
付属の電話機コードを本機の電話回線端子につなぎ、モジュラー分配器のもう一方に差し込みます。

6 電話機の電源コードをコンセントに挿します

ご注意

- 本機は、公衆電話、携帯電話、ビジネスホン、PHSなどの回線には接続できません。ホームテレホンの場合は、ホームテレホンのメーカーにお問い合せください。
- 本機の通信中は電話機やファクシミリの使用はできません。また、電話機やファクシミリの使用中は本機での通信はできません。キャッチホンを契約してる場合、本機での通信中に電話がかかってくると、本機の通信は終了します（キャッチホンⅡの場合は終了しません）。
- 電源コードや電話機コードはコードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜き差ししてください。
- プラグは奥までしっかりと差し込んでください。

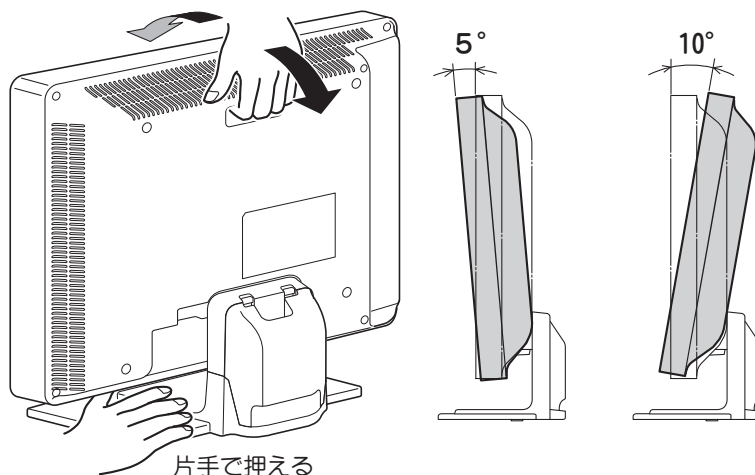
電源コードを接続する

付属の電源コードをテレビの電源端子に差し込み、電源プラグを家庭用コンセントに接続してください。
前面の待機中ランプが赤く点灯します。

（必ず①、②の順に接続してください。）

ご注意

- 電源コードを抜き差ししやすいように、コンセントの近くに設置してください。

パネルの角度調整 （20 インチモデルのみ）

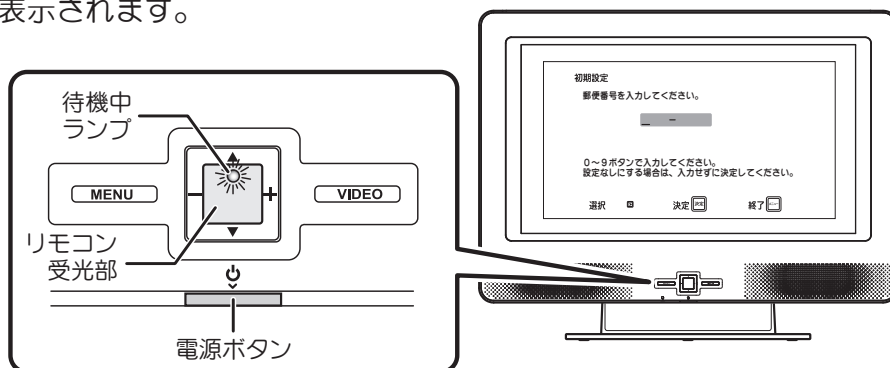
片方の手でスタンドをしっかり押さえながら、上部取っ手部分に手をかけ、本体を傾けます。
パネル面が前方へ 5°、後方へ 10° の範囲で角度の調整ができます。

初期設定をする

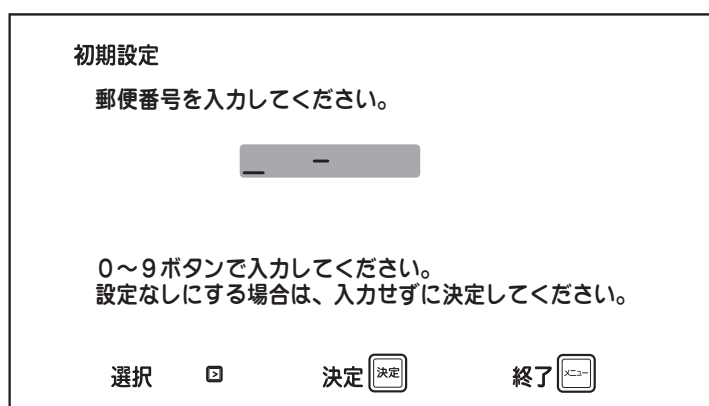
はじめてテレビの電源を入れると、自動的に郵便番号と受信チャンネルの設定が行われます。
本機は受信できるVHFとUHFの放送電波（地上デジタル放送および地上アナログ放送）を
自動的に検出し、記憶します。
※衛星放送のチャンネルはお買い上げ時、プリセットされています（☞33ページ）。

ご注意

- アンテナ接続が完了するまでは本機の電源を入れないでください。アンテナを接続していない状態では、正常な初期設定ができない場合があります。

1 テレビ本体の ⏻ ボタンを押します

電源が入り、初期設定画面が表示されます。
待機中ランプは消灯します。

2 郵便番号を入力します

お住まいの地域の郵便番号をリモコンの数字ボタンで入力し、
［決定］ **ボタン**を押します。
設定しない場合は、入力せずに［決定］ **ボタン**を押してください。

ご参考

- 郵便番号は、放送局から送られてくるデータ放送の地域情報などを知るために使われます。

初期設定をする（つづき）

3 受信チャンネル設定を行います

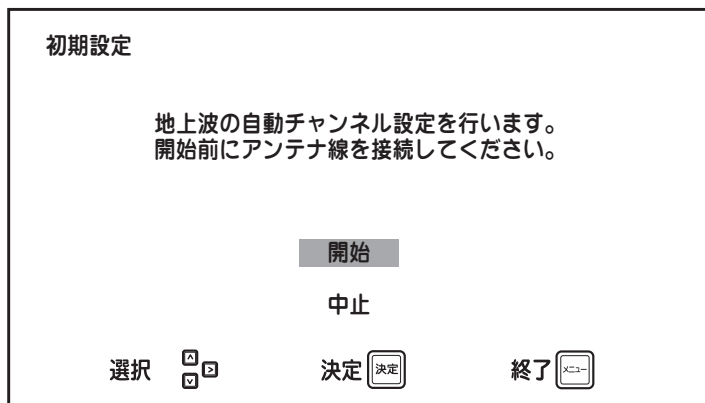
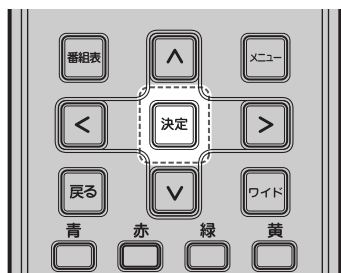
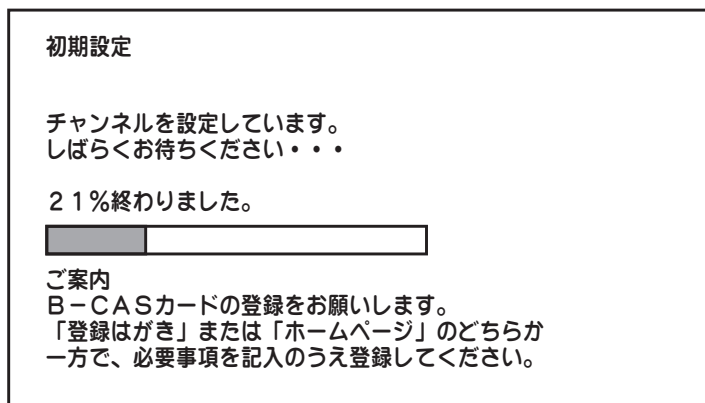
「開始」を選んでリモコンの 決定 **ボタン**を押すと、受信チャンネルの自動設定プログラムがスタートし、地上デジタル放送と地上アナログ放送のスキャンが行われます。

初期設定

地上波の自動チャンネル設定を行います。
開始前にアンテナ線を接続してください。

開始

中止

選択　決定　終了

画面には現在のスキャン状況が％とバーグラフで表示されます。

自動チャンネル設定が終了すると、自動的にデジタル放送受信状態になり、受信した一番若い番号のチャンネルが表示されます。（ただし地上デジタル放送のチャンネルをひとつも受信できなかった場合は、一番若い番号のアナログ放送チャンネルを表示します。）

ご注意

- 受信状態が悪いと、本来受信できる放送局も受信できない場合があります（☞20 ページ）。
- アンテナが地上デジタル放送に対応している必要があります（☞20 ページ）。
- 画面が表示されない場合は、74 ページをご覧ください。

初期設定をする（つづき）

自動チャンネル割り当てについて

■地上デジタル放送

自動チャンネル設定終了後、本機の選局ポジション（1 ～ 20）には、地上デジタル放送受信結果が設定されます。設定される内容は、お住まいの地域に対応した放送局名となります。

ご注意

チャンネルが自動登録されないときは…

- アンテナが地上デジタル放送に対応していないことが考えられます。
  詳しくは「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞73ページ）をご覧ください。
- アンテナが正しく接続されているか、再度確認してください。

※受信チャンネルの自動設定プログラムは、お買い上げ後最初に本機の電源を「オン」にすると自動スタートしますが、チャンネル設定メニュー（☞56 ページ）で自動または手動設定することもできます。また、手動チャンネル設定画面で現在どのように設定されているかも確認できます。チャンネル自動設定完了前にテレビの電源を「オフ」にした場合は、次回「オン」にしたとき、再度初期設定画面を表示します。

ご参考

- お住まいの地域によっては他地域の地上デジタル放送局の電波が受信できる場合があります。
  割り当てる選局ボタンが同じ、複数の局を受信した場合、1 局以外はボタン表示されません。
  手動チャンネル設定（☞58 ページ）でボタンの割り当て変更を行ってください。

初期設定をする（つづき）

■地上アナログ放送

自動チャンネル設定終了後、選局ポジション（1～24）には、受信結果が次のように設定されます。

① 1～12chのうちで受信できたチャンネルがチャンネル番号と同じ数字ボタンに登録されます。

② 13～62chのうちの受信できたチャンネルが、まだ割り当てられていない数字ボタンに対して、小さい数字ボタンから順に登録されます。

■ 自動設定によるチャンネル割り当て例

※電源を「オン」にする前にアンテナ線を接続していない場合は、チャンネル設定ができません。

※初期設定画面は、お買い上げ後最初にテレビ電源を「オン」にすると自動的に表示されます。

※チャンネル設定メニュー（☞ 56ページ）で自動設定することもできます。また、どのように設定されているかも確認できます。

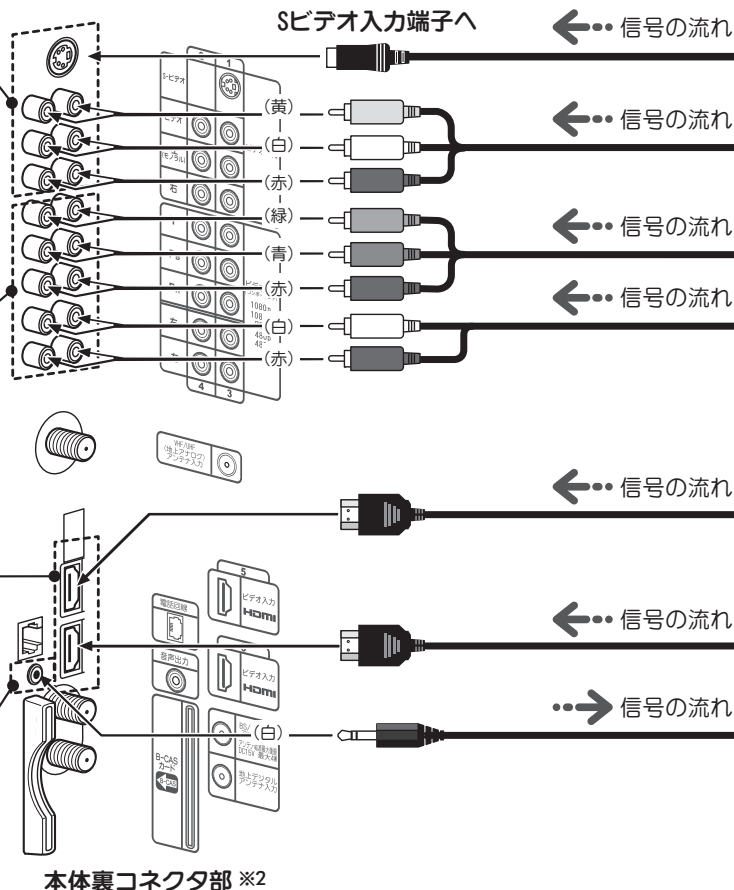
※すべての設定を工場出荷設定に戻す場合は、設定初期化を行ってください（☞ 70ページ）。

※チャンネル自動設定完了前にテレビの電源を「オフ」にした場合、または、チャンネル自動設定中に［メニュー］**ボタン**を押してチャンネル自動設定を中止させた場合は、次回「オン」にしたとき、再度初期設定画面を表示します。

※CATVの放送は自動登録されません。CATVチャンネル（C13ch～C63ch）の登録については58ページをご覧ください。

準備する

他の外部機器を接続する

他の外部機器を接続しない場合は、第3章「テレビを見る」（☞ 31 ページ）へ進んでください。
すぐにテレビ番組をお楽しみいただけます。

※1　ビデオ1入力のSビデオ端子とAVケーブルのビデオ端子（黄色ピンプラグ）の両端子に同時に機器を接続した場合、Sビデオ端子が優先して接続されます。
※2　本機に映像出力端子はありませんので、本機から直接録画することはできません。
※3　HDMIおよびHDMIロゴはHDMI LICENSING LLCの商標または登録商標です。

ご注意

- 外部機器を接続するときは、必ず本機および接続する外部機器の電源を「切」にしてください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子は、色分けがしてあります。ケーブルと接続端子のそれぞれの色が合うように接続してください。
- 映像入力端子/音声入力端子には、映像/音声信号以外のものを接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- HDMIケーブルで映像のみを本機へ入力する場合、またはHDMI-DVI変換ケーブルで接続する場合は、ビデオ5/ビデオ6（HDMI）音声入力のページ（☞ 53 ページ）をご覧ください。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続時のご注意
  - ・プラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続はノイズの原因となります。
  - ・プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜き取ってください。
  - ・複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切っておいてください。
  - ・接続した機器とテレビの画像や音声にノイズがでるときは、お互いを十分に離してください。

本体背面にある６系統の外部入力端子に、ビデオデッキやDVDプレーヤー、CATVセットトップボックス（ホームターミナル）、地上デジタルチューナーなどを接続して、映像や音声を楽しむことができます。

外部接続機器例

ケーブル	機器	接続方法
Sビデオケーブル（市販品） ビデオ+オーディオケーブル（市販品）	ビデオカメラ ビデオデッキ TVゲーム機	**Sビデオ端子があるもの** Sビデオ出力端子、音声出力端子（白赤ピンプラグ）両方へ接続します。 **Sビデオ端子が無いもの** 映像音声出力端子（黄白赤ピンプラグ）へ接続します。
D映像端子変換ケーブル（付属品） オーディオケーブル（市販品）	D映像端子付デジタルチューナー D映像端子付DVDプレーヤー	D映像端子、音声出力端子（白赤ピンプラグ）両方へ接続します。
HDMIケーブル（市販品）	HDMI端子付DVDレコーダー	**HDMI端子付の場合** HDMI端子へ接続します。
HDMI-DVI変換ケーブル（市販品）	パソコン本体	**DVI端子付の場合** DVI端子へ接続します。 （☞53, 55, 72ページ）
オーディオケーブル（市販品）	MDデッキ	音声入力端子（白赤ピンプラグ）へ接続します。

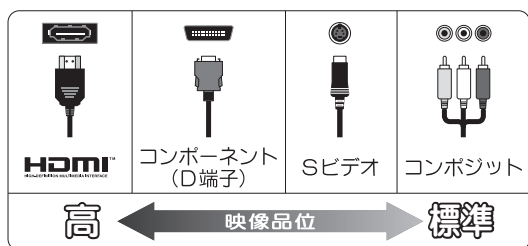
ご参考

- 各端子の映像クオリティについて
  右図を参考に最適な映像端子をお選びください。

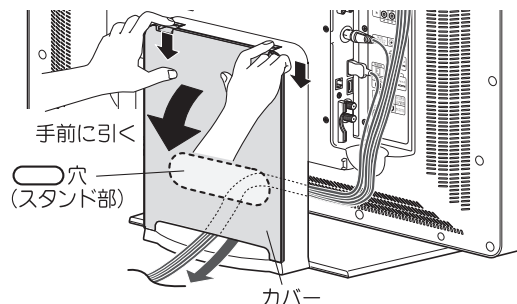
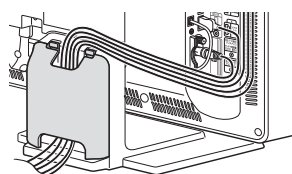
HDMI	コンポーネント（D端子）	Sビデオ	コンポジット
高	← 映像品位 →		標準

- HDMI端子について
  １本のケーブルで映像信号や音声・コントロール信号をデジタル伝送でき、デジタル信号をアナログ変換しないので最も優れた映像品位が得られます。

- コンポーネントビデオ端子について
  - ・コンポーネントビデオ信号は色差信号とも呼ばれ、映像を輝度信号（白黒成分）と２種類の色信号（青：B-Y／赤：R-Y）に分離して伝送します。
    デジタルチューナーやDVDでは輝度信号と色信号を別々に記録してあるため、輝度信号と色信号を混合して伝送する通常のビデオ信号に比べ、色のにじみが少ないなど、高品位な伝送が可能です。
  - ・本機に付属のD映像端子変換ケーブル（D映像端子⇔コンポーネントビデオ端子（緑青赤ピンプラグ）変換ケーブルにより、D映像端子のついた機器を接続できます。

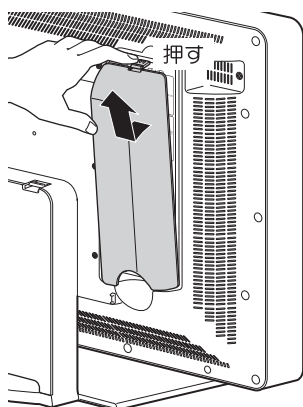
- Sビデオ端子について
  - ・より鮮明な画質を得るために、映像信号を輝度（明るさ）と色に分離したものです。
    本機のビデオ１入力には、Sビデオ端子＋オーディオ端子（白赤ピンプラグ）またはビデオ＋オーディオ端子（黄白赤ピンプラグ）のどちらも接続可能です。
  - ・Sビデオ端子が無く、ビデオ端子（黄色ピンプラグ）のついた機器の映像を見るときは、ビデオ＋オーディオ端子（黄白赤ピンプラグ）に接続してください。

ケーブルの処理

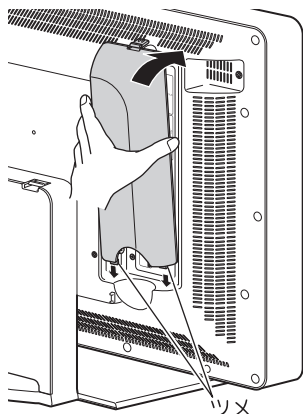
カバーをはずし、本体スタンド部にある（　）穴にケーブルを通します。
（カバーは2か所のツマミを押し、手前に引くとはずれます。）
カバー下部の切欠きにケーブルを通します。

※20インチモデルには
（　）穴はありません。
カバー上下の切欠きに
ケーブルを通してください。

コネクターカバーについて

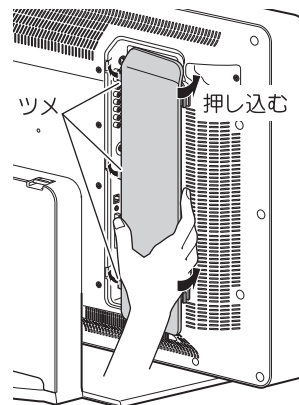
※20インチモデルにはコネクターカバーはありません。

<27/32インチモデル>

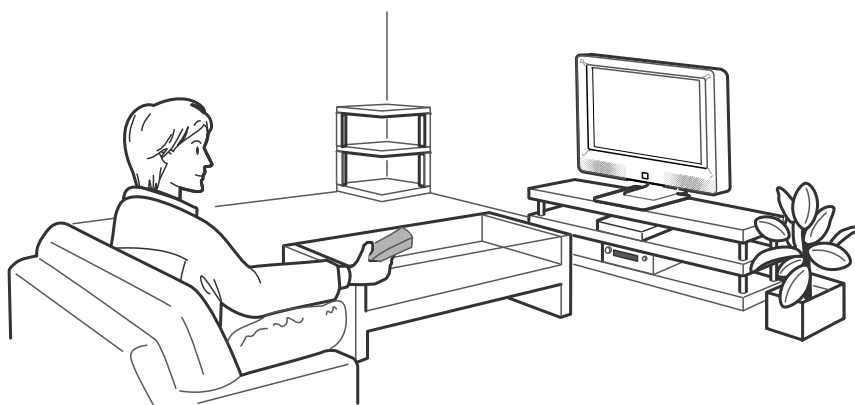
● **はずしかた**

上部のツマミを押し下げ、手前に引きながら取りはずします。

● **取り付けかた**

下部2か所のツメを本体の穴に入れ、ロックされるまで上部を押し込みます。そのあと中央部分を押し込んで、左右のツメもロックしてください。

<37/42インチモデル>

2か所のツマミを押し、手前に引きながら取りはずします。

左側3か所のツメを本体の穴に入れ、ロックされるまで押し込みます。そのあと右側2か所のツマミ付近を押してロックしてください。

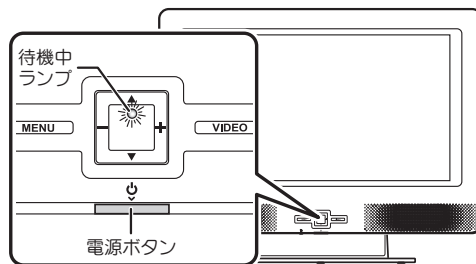
※ コード類をはさまないようご注意ください。

第 3 章

テレビを見る

テレビを見る

通常の操作はリモコンで行います。テレビ本体に同種のボタンがある場合は、同じように操作できます。

1 電源を入れます

リモコンの 電源 ボタン、**選局（▲/▼）ボタン**
またはテレビ本体の ⏻ **ボタン**を押します。
前面下部の待機中ランプが消えて電源が入ります。

2 チャンネルを選びます

地上デジタル放送を見る

地上 **ボタン**を押し、**数字ボタン**または**選局（▲/▼）ボタン**でチャンネルを選びます。

地上アナログ放送を見る

地上 **ボタン**を押し、**数字ボタン**または**選局（▲/▼）ボタン**でチャンネルを選びます。

> 地上 **ボタン**を繰り返し押すと、アナログ放送・デジタル放送が交互に切り換わります。

衛星デジタル放送を見る

BS/CS **ボタン**を押し、**数字ボタン**や**選局（▲/▼）ボタン**でチャンネルを選びます。
また、チャンネル番号を直接入力することもできます（☞33 ページ）。

> BS/CS **ボタン**を押すごとに、BS ↔ CS と切り換わります。

※外部機器（ビデオ・DVD 等）を見るとき
（☞ 44 ページ）

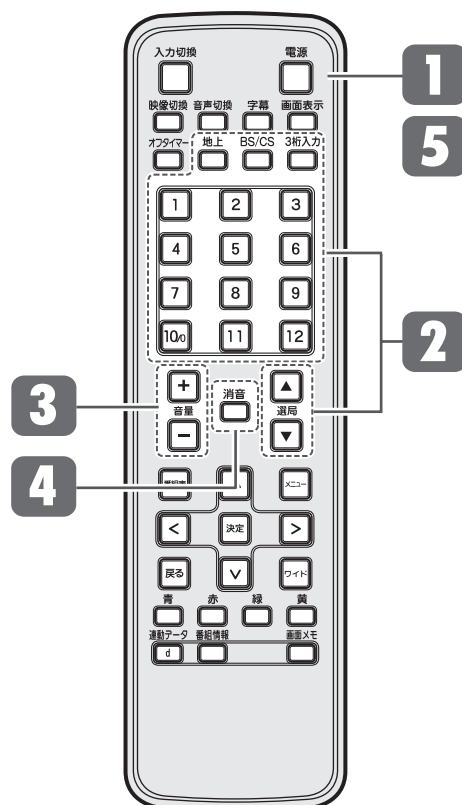
3 音量を調節します

音量（+ / −）ボタンで音量を調節します。
画面下側に音量が表示されます。

4 音を一時的に消します

消音 **ボタン**を押します。
・もう一度 消音 **ボタン**を押すと、
元の音量に戻ります。

5 電源を切ります

リモコンの 電源 **ボタン**または、本体の
⏻ **ボタン**を押すと電源待機状態となり、
待機中ランプが点灯します。

ご参考

- テレビ電源待機中に下記のリモコンボタンを押すと、電源ボタンを押さずにダイレクトに操作できます。
  数字ボタン
  電源が入り、押したボタンのチャンネルを表示します。
  消音ボタン
  消音状態で電源が入り、最後に見ていた画面を表示します。
  選局（▲/▼）ボタン
  電源が入り、最後に見ていたチャンネルを表示します。
- 地上デジタル放送ではサブチャンネルでの放送が行われていることがあります。
  数字ボタンを繰り返し押すと、サブチャンネルを選択できます（サブチャンネルでの放送がある場合のみ）。
  例：2 を 1 回 ⇒ 2_1（サブチャンネル 1）
  2 を 2 回 ⇒ 2_2（サブチャンネル 2）
  2 を 3 回 ⇒ 2_3（サブチャンネル 3）

テレビを見る

衛星放送チャンネルを見る

BS ／ CS のチャンネルの選びかたには次の方法があります。

※本機は BS アナログ放送には対応しておりません。

チャンネル＋ / －ボタンで選ぶ

1 BS/CS ボタンを押す

押すたびに BS ↔ CS と切り換わります。

2 選局（▲/▼）ボタンを押す

押すたびに現在視聴しているチャンネルの次に割り当てられているチャンネルに切り換わります。

※割り当てられていないチャンネルにも切り換えることができます。（☞60 ページ）

ダイレクト選局（見たいチャンネル番号を押して選ぶ）

1 BS/CS ボタンを押す

2 3桁入力 ボタンを押す

3 数字ボタンを押す

例）200ch を選局したいとき 2 ▶ 10/0 ▶ 10/0

※入力したチャンネル番号が無効の場合は表示していた元の画面に戻ります。

ダイレクト選局（短縮ボタンで選ぶ）

本機は短縮ボタンにあらかじめ右表のようにチャンネルが登録されています。

※その他のチャンネルもお好みで登録できます（☞58 ページ）。

1 BS/CS ボタンを押す

2 数字ボタンを押す

例）右表の割り当て例で、Ch101「NHK BS1」を選局したいときは数字ボタン 1 を押します。

リモコンボタンに割り当てられた放送局（工場出荷時設定）

・放送局名やチャンネルは実際の表示と異なる場合があります。

BS デジタル放送		
番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHK ハイビジョン
4	141	BS 日テレ
5	151	BS 朝日
6	161	BS-i
7	171	BS ジャパン
8	181	BS フジ
9	191	WOWOW
10/0	200	スター・チャンネル
11	211	BS11
12	222	TwellV

110 度 CS デジタル放送		
番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS 映画
4	300	日テレプラス
5	055	ショップチャンネル
6	160	C-TBS ウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	302	フジテレビ 721
9	194	インターローカル TV
10/0	101	宝塚プロモチャンネル
11	800	スカチャン! HV
12	233	スターチャンネル HV

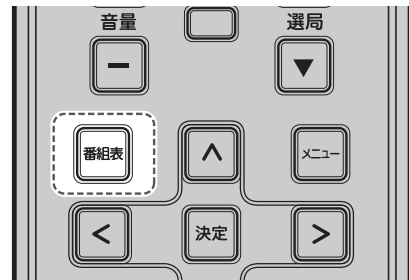
電子番組表を見る（番組表）

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧や、個々の番組内容などを見ることができます。番組表は現在から７日先まで表示されます。

※本機で表示できる電子番組表は、デジタル放送のみです。

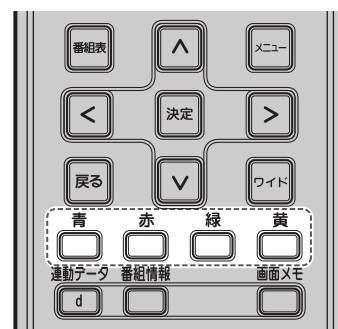
■番組表を表示する

番組表 **ボタン**を押します。

押すたびに番組表の表示 / 非表示が切り換わります。
現在見ている番組がハイライト（緑色）されます。
他の放送の番組表へ切り換えるには、地上 **ボタン**または BS/CS **ボタン**を押します（☞32 ページ）。

お知らせ

- お買い上げ後初めてお使いになるときは、番組情報の取得に時間がかかる場合があります。ご覧になりたい放送局にハイライト（緑色）を移動し、１分程度お待ちください。
- 本機の電源を待機中にしておくと、デジタル放送の電子番組表が自動的に取得されます。電子番組表の表示を速くしたい場合は、電源コードを抜かずに待機状態にしてください。
- カラーボタン（青 / 赤 / 緑 / 黄）操作が可能な場合は、カラーボタンガイドが表示されます。

（例）青・赤・緑・黄が有効な場合

番組詳細 ...... 青 **ボタン**
指定日時 ...... 赤 **ボタン**
前頁 .... 緑 **ボタン**
次頁 .... 黄 **ボタン**

■番組表から番組を選ぶ

同一時間帯の
他局の番組を選ぶ（ ① ）には
[<] / [>] **ボタン**を押します

同一放送局の
他の時間帯の番組を選ぶ（ ② ）には
[∧] / [∨] **ボタン**を押します

	■NHK総合 1	■NHK教育 2	■日本テレビ 4
19時	イブニングニュース		くるくるセブンティセブン
	メジャーリーグベースボール　開幕戦　ボストンブルーソックス×MYヤンキーズ　～第３戦～＜録画＞	①	土曜スペシャル・春満喫！絶景の温泉 ②
20時			
21時			アップタウンＥＸ
	クローズマップ現代		明日のお天気

■番組の詳しい情報を見る（番組詳細）

番組をハイライト（緑色）した状態で
[青] **ボタン**または [決定] **ボタン**を押すと、
選んだ番組の詳細な番組情報が
表示されます。

「番組詳細」画面のみかた

番組詳細には、番組の内容や映像・音声情報など、選んだ番組に関するさまざまな情報が表示されます。
[∧] / [∨] **ボタン**を押すと番組詳細の内容をスクロールできます。

地上デジタル番組詳細　　4月7日(土)19:40

放送局	：NHK総合
チャンネル	：１ＣＨ
日時	：4月7日(土)　１９：３０～２１：３０
番組名	：メジャーリーグベースボール　開幕戦
番組情報	：いよいよシーズン開幕！今季初登板となる注目の竹坂投手が、昨年度ワールドシリーズを制したＤ．シーター選手をはじ

番組表に戻る　視聴する
指定日時 赤
選択　決定　終了

現在放送中の番組詳細の場合は、その番組を視聴することができます。
[<] / [>] **ボタン**で「視聴する」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、番組詳細画面を終了して放送画面に切り替わります。

番組表へ戻るには、[決定] または [<] / [>] **ボタン**を押してください。

ご参考

- デジタル放送番組の視聴中に [番組情報] **ボタン**を押すと、視聴している番組の番組詳細を見ることができます（☞45ページ）。

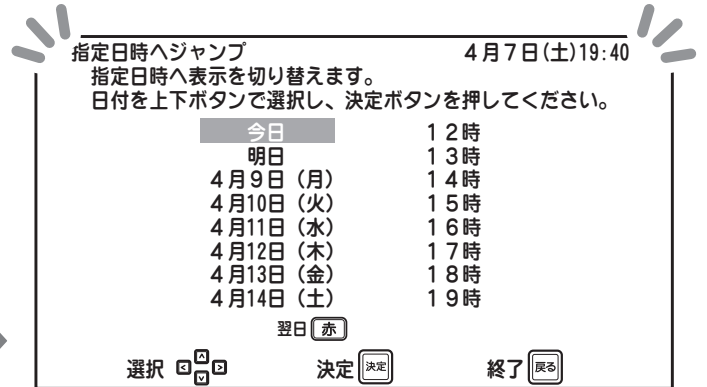
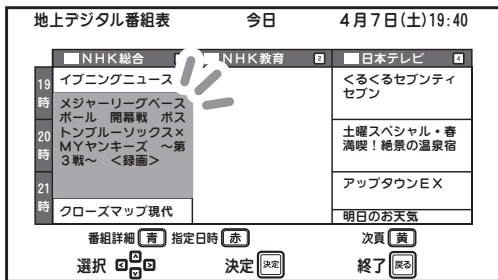
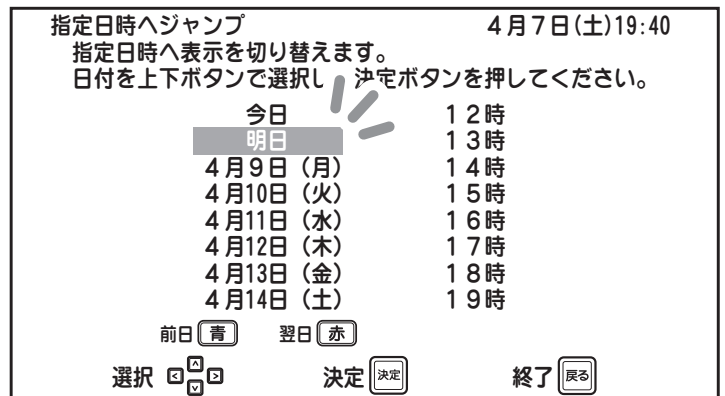
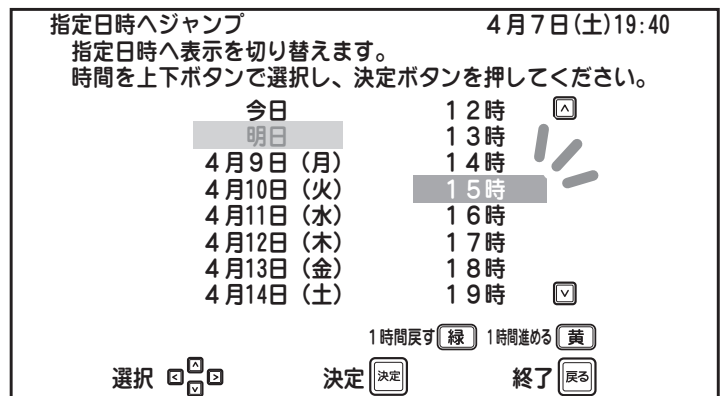
ご注意

- 番組情報が取得できていない場合は、番組詳細は表示されません。

▌電子番組表を見る（番組表）（つづき）

■指定した日時の番組表を見る（指定日時へジャンプ）

日時を指定して現在から７日先までの番組表を見ることができます。

赤 ボタンを押すと、日時設定画面が表示されます。

∧ / ∨ ボタンで日付を選択し、決定 ボタンを押します。

次に ∧ / ∨ ボタンで時間を選択し、決定 ボタンを押します。

指定した日時の番組表が表示されます。

ご参考

- 決定 ボタンを押す前に ＜ ボタンを押すと日付設定に戻ることができます。

■番組表を終了する

戻る ボタン、または 番組表 ボタンを押します。

チャンネル番号などを表示する（画面表示）

画面表示ボタンを押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

画面表示 ボタンを押します

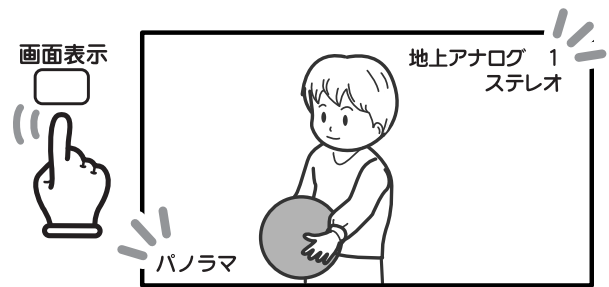
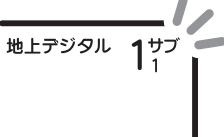
もう一度 画面表示 **ボタン**を押すと、表示は消えます。

■デジタル放送の場合

受信中のチャンネル番号や番組名などの情報が表示されます。

もう一度 画面表示 **ボタン**を押すと画面左上の表示が消え、さらにもう一度押すと画面右上のチャンネル番号表示が消えます。

■アナログ放送の場合

画面右上に受信中のチャンネル番号、音声モード、映像フォーマット、左下にワイドモードが表示されます。

※音声モードは外部入力を選択した場合は表示されません。

映像フォーマット（480i、480p、1080i、720p、1080p、VGA）はビデオ 3 ～ 6 を選択したときに表示されます。

（☞ 44 ページ）

※チャンネル番号以外は 3 秒後自動的に消えます。

ご参考

- サブチャンネル放送がある場合、代表チャンネル番号の横にサブチャンネル番号が表示されます。

- 画面表示のみかた

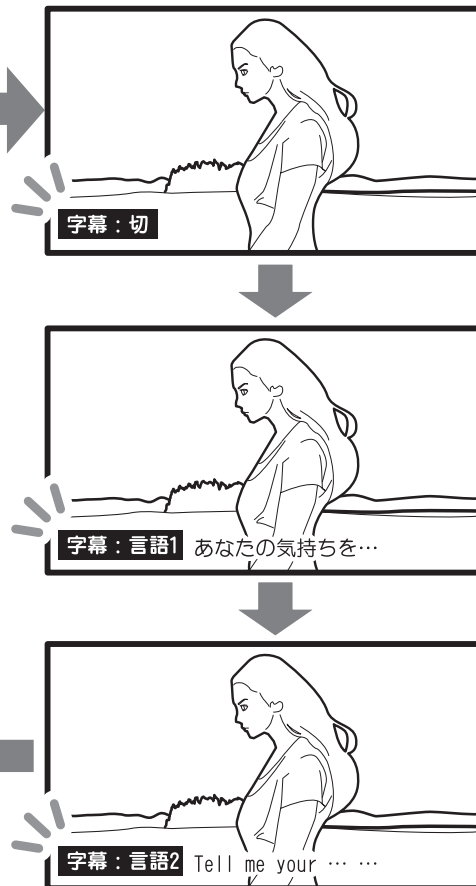
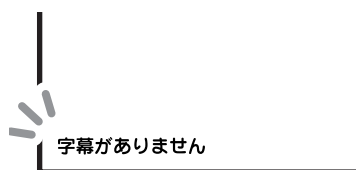
  画面左上に表示される情報として、次のものが表示されることがあります。

S	ステレオ放送番組
SS	サラウンド放送番組
字	字幕放送番組
二	二ヶ国語放送番組
解	解説音声付番組

字幕を表示する（字幕）

映画やドラマなどの字幕を表示したり、消したりできます。

放送視聴中に 字幕 ボタンを押します

押すたびに切、言語 1、言語 2 と切り換わります。

- 字幕がない番組の場合は、画面左下に

と表示されます。

また、地上アナログ放送は字幕放送に対応していません。このような場合、ボタンを押すと画面左下には

と表示されます。

お知らせ

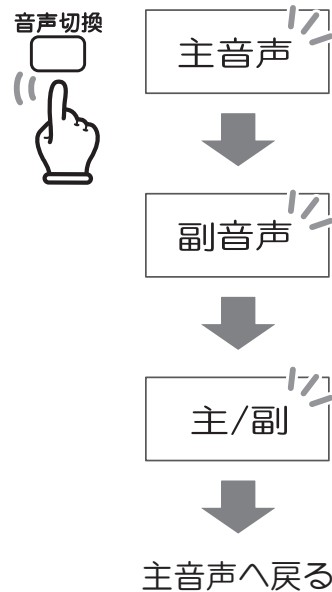
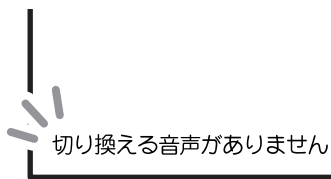
- 「言語 1」「言語 2」の表示は番組情報に依存します。
- 放送局側で字幕表示を消せない設定にしている番組もあります。
- メニュー画面で初期設定値を変更することができます（☞63 ページ）。

二カ国語音声を選ぶ（音声切換）

日本語と英語など二カ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。

音声切換 ボタンを押します

チャンネル番号、音声（主音声・副音声・主／副）が画面右上に表示されます。
ボタンを押すたびに「主音声」「副音声」「主／副」の順に切り換わります。

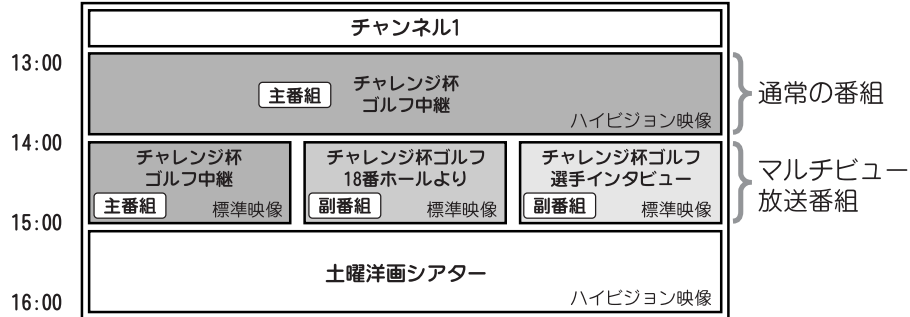
主音声へ戻る

※この設定はメニュー画面でも行うことができます（☞ 52 ページ）。

ご注意

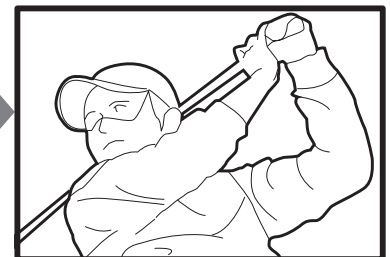
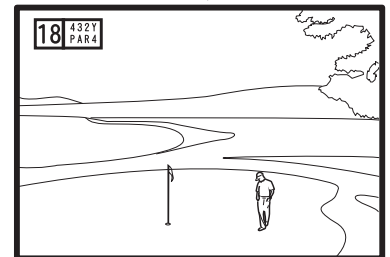
- 二カ国語放送でない場合、ボタンを押しても切り換わりません。
- 外部入力を選択した場合（☞ 44 ページ）は音声切換はできません。
- 主／副にすると、左スピーカーから主音声、右スピーカーからは副音声が出力されます。
- 「主音声」「副音声」「主／副」の表示は放送局側からの番組情報に依存します。

マルチビュー放送を見る（映像切換）

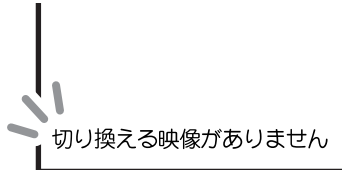
お知らせ

- マルチビュー放送とは
  ひとつのチャンネル内で主番組・副番組の複数映像が送られる放送です（最大 3 チャンネル）。
  たとえばゴルフ中継など、主番組では通常の放送、副番組ではそれぞれ 18 番ホールの映像と、ホールアウトした選手のインタビュー映像を放送をするなど、視聴者が見たい場面を選択して見ることができる放送が行われる予定です。
  （2008 年 1 月現在、マルチビュー放送は行われていません。）

マルチビュー放送のイメージ

映像切換 ボタンを押します

ボタンを押すたびに、同一チャンネル内での放送が切り換わります。

ご参考

- 切り換える映像がない場合は、画面左下に

  切り換える映像がありません

  と表示されます。

データ放送番組を見る（連動データ）

地上デジタル、CS/BS 放送において、視聴している番組と連動してデータ放送が行われている場合、データ放送番組を見ることができます。

1 テレビ放送受信中に 連動データ d ボタンを押します

連動データ放送に切り換わります。

2 操作を行います

画面の内容に従って、カラーボタンや 戻る **ボタン**などで操作を行います。

お知らせ

- データ放送番組の操作内容は放送局側からの番組情報に依存します。
- 本機は、インターネット接続を利用した双方向サービスには対応しておりません。

3 データ放送を終了します

連動データ d **ボタン**を押します。

ご参考

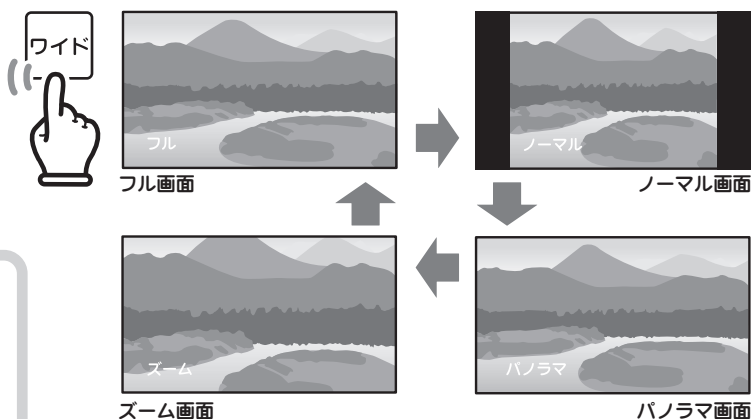
- データ放送は受信に時間がかかる場合があります。受信中は画面右下に「データ受信中」と表示されます。

パノラマやズーム画面表示にする（ワイド）

表示画面をフル表示、ノーマル表示（地上アナログ放送のみ）、パノラマ表示、ズーム表示に切り換えることができます。

※映像のフォーマットやアスペクト比、入力経路によって選択できないワイドモードがあります。

ワイド ボタンを押します

ボタンを押すたびに、画面が次のように切り換わります。

ご参考

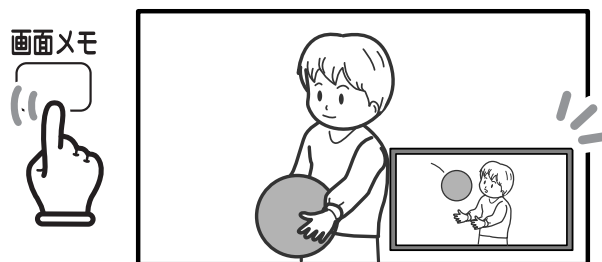
- パノラマ表示では、4:3の映像を違和感少なく画面全体に拡大します。
- ノーマル表示では、画面の左右に映像が表示されない領域が生じます。
- 映像フォーマットが720p, 1080i, 1080pの場合、パノラマ表示は選択できません。
- メニュー画面の「画面設定」（☞ 54ページ）でも同様の設定ができます。

静止画にする（画面メモ）

現在受信中の映像を静止画として記憶し、表示します。
電話番号や地図・レシピなど、メモを取りたいときに便利です。

1 画面メモ **ボタンを押します**

画面右下に、そのとき表示されていた映像が表示されます。

2 もう一度 画面メモ **ボタン**を押すと、画面メモは消えます。

ご参考

- 画面メモは、チャンネル選局、ワイド表示切換、外部入力の切換などを行うと、自動的に消去されます。

オフタイマーを使う（オフタイマー）

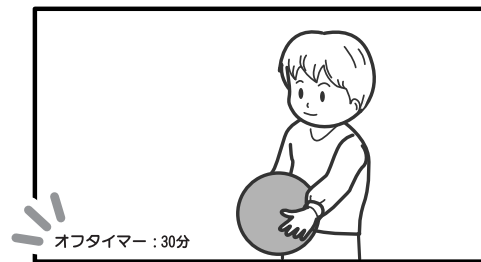
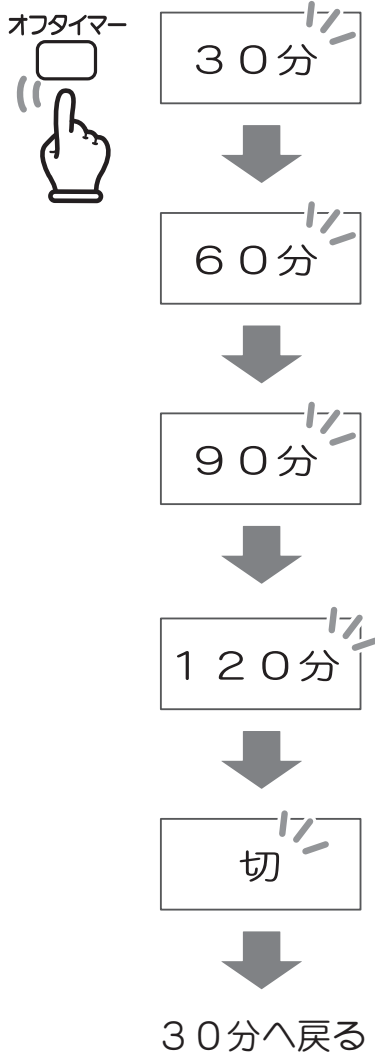
オフタイマーを設定すると指定した時間後に電源が切れます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。オフタイマーは30分単位で30分から120分まで設定できます。

３０分へ戻る

オフタイマー ボタンを押します

オフタイマー設定画面になります。
ボタンを押すたびに「30分」→「60分」→「90分」→「120分」→「切」→「30分」…のように設定できます。

画面左下にタイマー設定時間が表示されます。

・ 設定時間が経過すると…
  タイマー動作1分前に「オフタイマー：まもなく電源が切れます」と画面表示され、自動的に電源待機状態になります。

ご注意

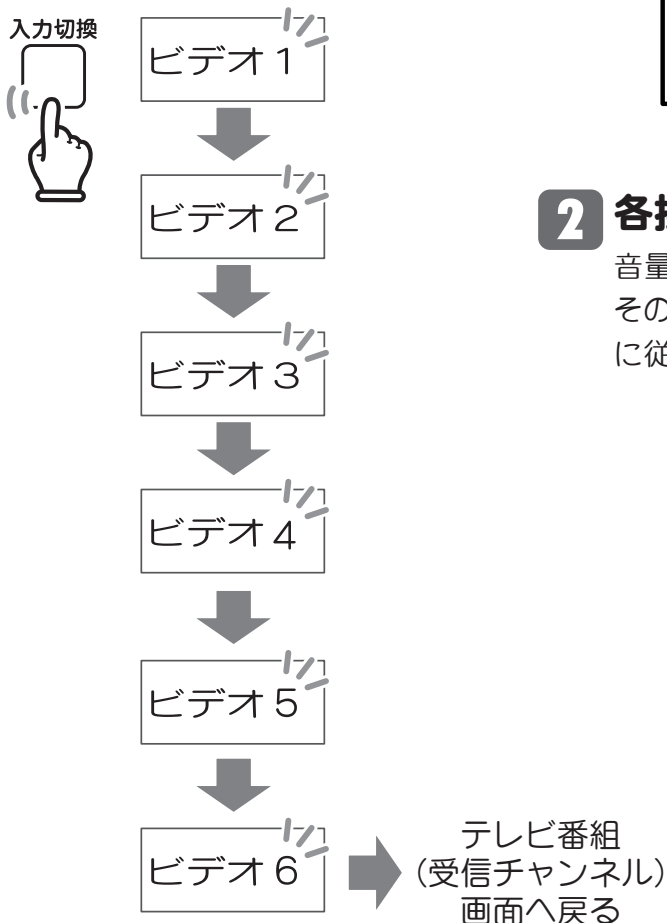
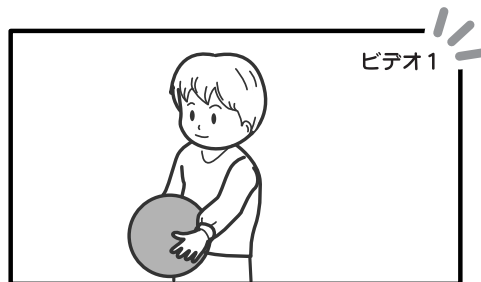
- 電源を切った場合、オフタイマーは解除されます。
- オフタイマーがすでに設定されている状態で オフタイマー **ボタン**を押すと、残り時間に加算された設定時間となります。
  （1～30分の場合は「60分」、31～60分の場合は「90分」、61～90分の場合は「120分」、120分の場合は「切」から設定を開始します。）

▌外部接続した機器を使う（入力切換）

背面の外部入力端子に接続した、ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの使用時に入力切換を行います。

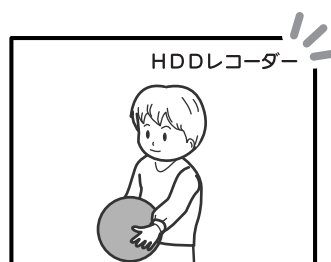
ビデオ１ → ビデオ２ → ビデオ３ → ビデオ４ → ビデオ５ → ビデオ６ → テレビ番組（受信チャンネル）画面へ戻る

1 入力切換 ボタンを押します

ボタンを押すたびに入力が切り換わります。画面右上にチャンネル番号または入力端子の名称が表示されます。

2 各操作を行います

音量調節は本機のリモコンで行いますが、その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。

ご参考

● 画面に表示される名称は、接続した機器に合わせて変更することができます。詳しくは入力端子の設定（☞ 62ページ）をご覧ください。

視聴している番組の番組情報を見る（番組情報）

地上、CS、BS 各デジタル放送では、視聴している番組の詳しい情報を見ることができます。

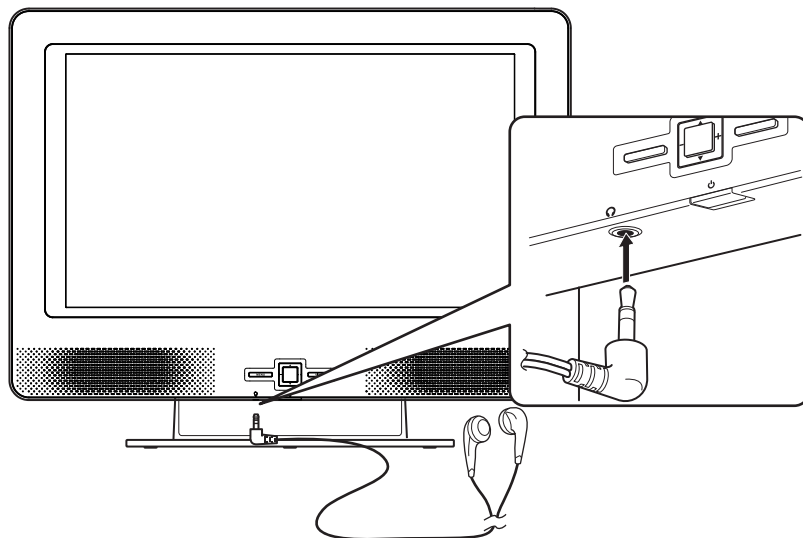
1 デジタル放送を視聴中に 番組情報 ボタンを押します

見ている番組の番組情報が表示されます。

> **ご注意**
>
> - 番組情報が取得できていない場合は、番組詳細は表示されません。

2 戻る **ボタン**、または 番組情報 **ボタン**を押すと表示が消え、元の画面に戻ります。

ヘッドフォンで楽しむ

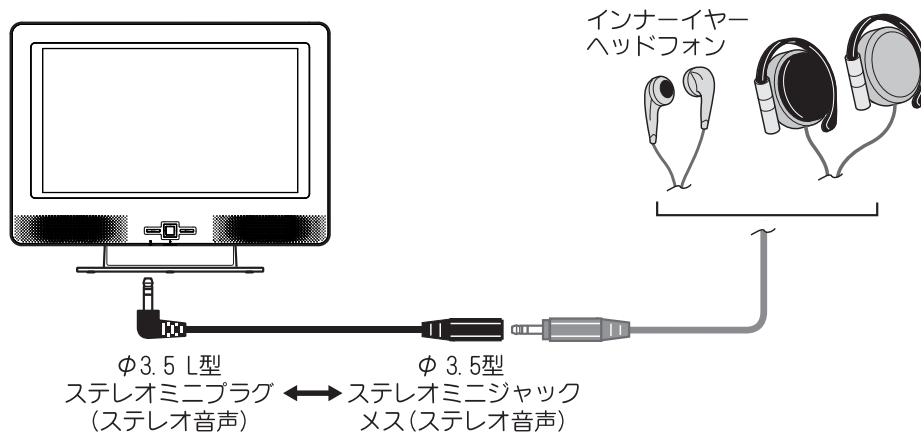
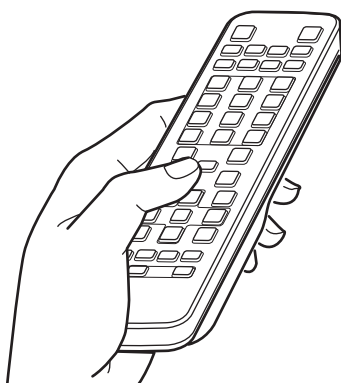
市販のヘッドフォンを使用するときは、本体下部にあるヘッドフォン出力端子に接続してください。
※ヘッドフォンを接続すると、本体のスピーカーからは音声が出なくなります。

ご注意

- ヘッドフォンプラグは確実に挿入してください。
  (不完全なときは、スピーカーから音もれすることがあります。)

本体のヘッドフォン出力端子は、φ 3.5 ステレオミニジャックとなっています。
ステレオミニプラグ以外のヘッドフォンの場合は、ステレオミニプラグに変換して接続してください。

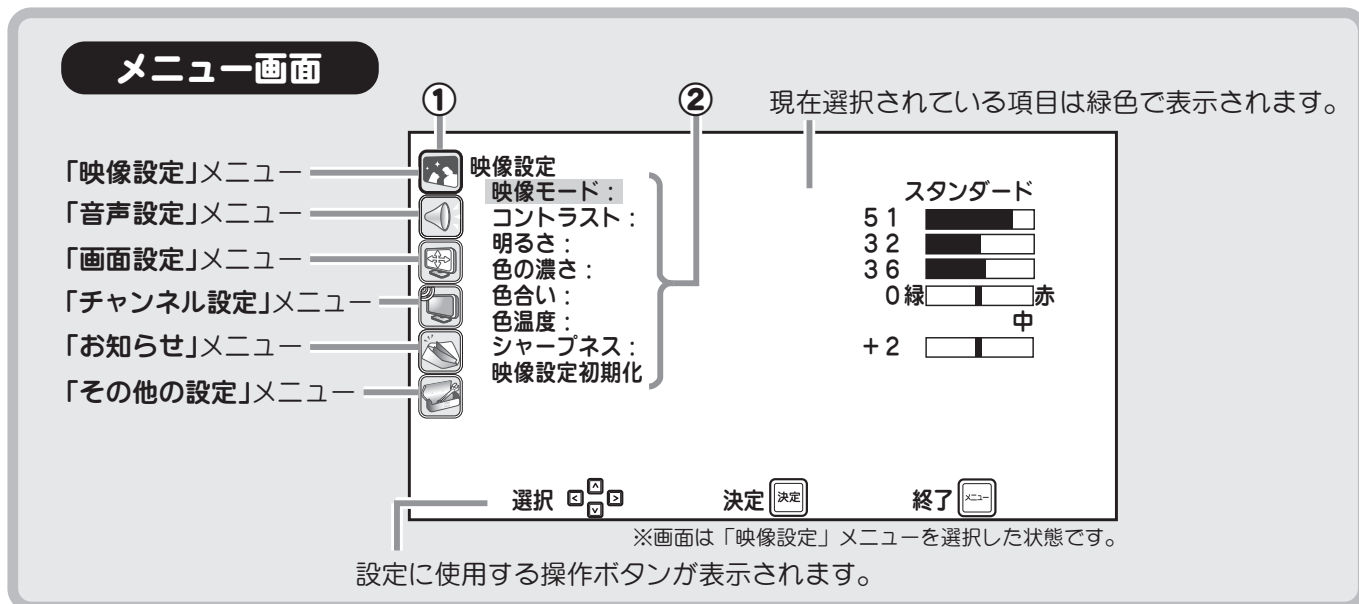
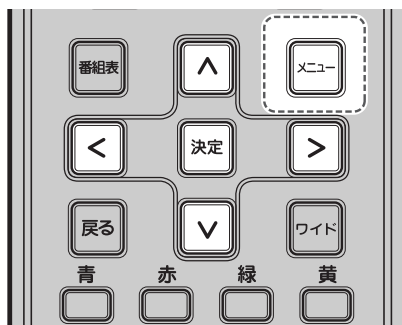
また、ストレート型のステレオミニプラグのヘッドフォンを接続する場合、確実に挿入できないことがあります。この場合は、市販品のφ 3.5 L型ステレオミニプラグとφ 3.5 ステレオミニジャックの変換コード、または変換コネクタを使って接続してください。

ヘッドフォン接続例

テレビを見る

第 4 章

各種設定のしかた

各種設定のしかた（メニュー）

※本機をはじめてご使用になる場合は、はじめに初期設定を行ってください（☞24 ページ）。

- [メニュー] **ボタン**を押すとメニュー画面が表示されます。再度押すと元の画面に戻ります。
- メニュー画面では、映像・音声・チャンネル設定に関する各種調整・設定ができます（☞50 ページ）。
- 項目設定後に、すべての設定を初期（工場出荷時）状態に戻したいときは、設定初期化を行ってください（☞70 ページ）。

各メニューの設定項目については 50 ページのメニュー一覧表をご覧ください。
各設定項目はすべて以下の方法で設定が行えます。

1 [メニュー] **ボタン**を押し、メニューを表示します。

2 [∧] / [∨] **ボタン**を押し、設定したい第 1 階層のメニュー（ ① ）を選択します。
選択されている項目はアイコンの枠が緑色になります。

選択中は右の枠内にそのメニューで設定できる第 2 階層のサブメニュー（ ② ）が表示されます。

[決定] **ボタン**を押すと第 2 階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライト（緑色）されます。

3 [∧] / [∨] **ボタン**で選択項目のハイライト（緑色）を動かし、第 2 階層のサブメニューを選択します。

[決定] **ボタン**を押すと第 3 階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライトされます。

4 [∧] / [∨]（または [<] / [>] ）**ボタン**で設定値を変更します。
設定中は画面下部中央に項目名と設定値が表示されます。

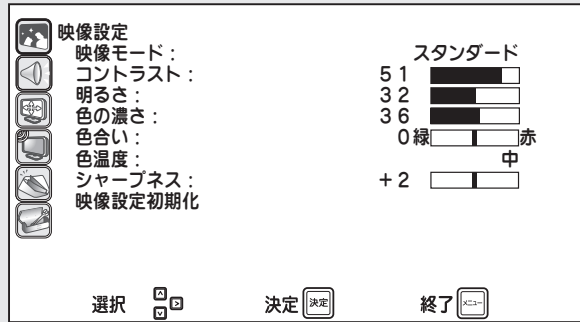
5 [決定] **ボタン**を押すと設定を完了し、メニュー画面に戻ります。

各種設定のしかた（メニュー）（つづき）

メニュー画面の基本操作

メニュー画面を表示する・終了する

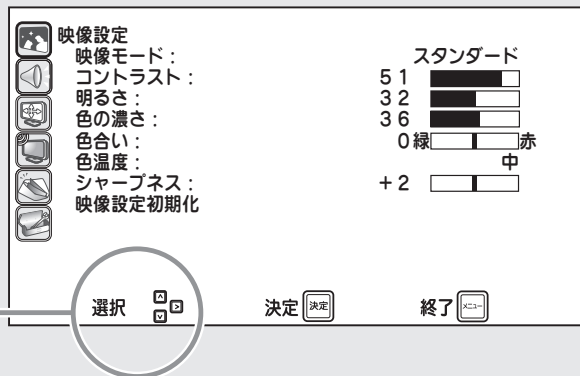
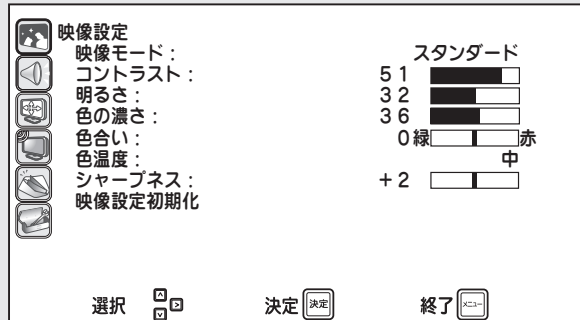
ボタン

※再度押すとメニュー画面が消え、元の画面に戻ります。

項目の選択・カーソルの移動

ボタン

※画面下には使用できるボタンが表示されます。

選択内容の確定

決定 ボタン

ひとつ前の画面に戻る

決定 ボタン

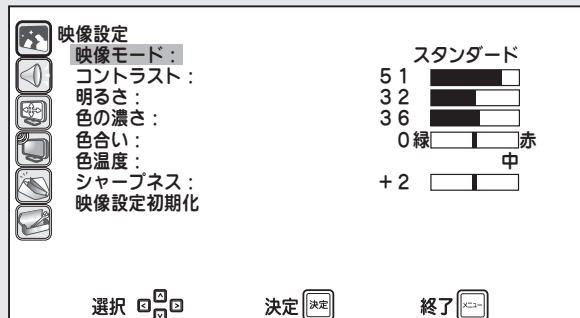
※第３階層から第２階層に戻る場合のみ。

第２階層（サブメニュー）から第１階層へは < ボタンで戻ります。

例）「映像モード」の場合

第３階層（「映像モード」設定画面）

決定 ボタンを押す

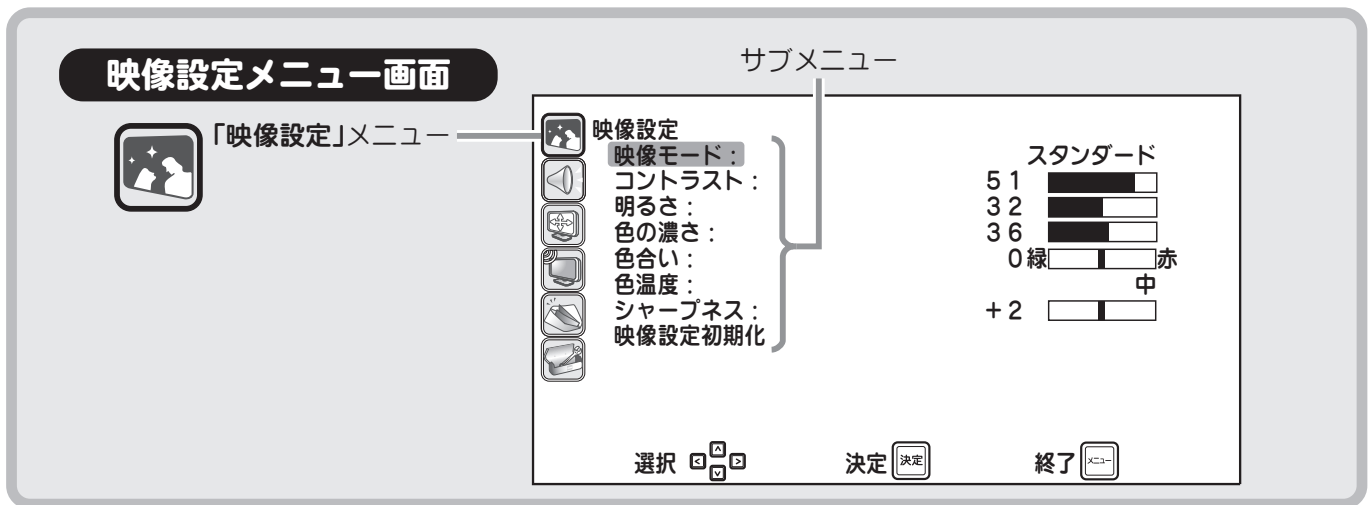
第２階層（「映像設定」サブメニュー画面）**に戻る**

メニュー一覧表

第１階層（メニュー）	第２階層（サブメニュー）	第３階層
●メインメニュー		
映像設定　（51ページ）	●映像設定メニュー	
	映像モード	あざやか / ユーザー / シネマ / スタンダード
	コントラスト	64段階
	明るさ	64段階
	色の濃さ	64段階
	色合い	64段階
	色温度	「高」、「低」、「中」
	シャープネス	15階調
	映像設定初期化	
音声設定　（52ページ）	●音声設定メニュー	
	低音	33段階
	高音	33段階
	バランス	33段階
	ステレオ/モノラル	「オート」、「モノラル」
	二カ国語放送	「主」、「副」、「主/副」
	SRS TruSurround XT	「切」、「弱」、「中」、「強」
	ビデオ５（HDMI）音声入力	「HDMI音声入力」、「ビデオ１～４音声入力」
	ビデオ６（HDMI）音声入力	「HDMI音声入力」、「ビデオ１～４音声入力」
	音声設定初期化	
画面設定　（54ページ）	●画面設定メニュー	
	現在のワイドモード	フル、ノーマル、パノラマ、ズーム
	自動ワイド切換	「入」、「切」
	標準のワイドモード	フル、ノーマル、パノラマ、ズーム、切
	垂直表示位置設定	「パノラマ」：－7～+7、「ズーム」：－15～+15
	オーバースキャン	「入」、「切」、「オーバースキャン設定初期化」
	画面設定初期化	
チャンネル設定（56ページ）	●チャンネル設定メニュー	
	アンテナレベル	受信電波のレベル表示
	手動チャンネル設定	チャンネル設定リスト
	自動チャンネル設定	「実行」、「中止」
	アップ/ダウン選局設定	「割り当てボタンのみ」、「すべて」
お知らせ　（61ページ）	●お知らせメニュー	
	リスト（未読・タイトル）表示	詳細表示
その他の設定　（62ページ）	●その他の設定メニュー	
	入力端子の設定	チューナー（地上アナログ／地上デジタル／ＢＳ／ＣＳ） / ビデオ端子１～６ / 入力端子設定の初期化
	字幕設定	「切」、「言語１」、「言語２」
	文字スーパー設定	「切」、「言語１」、「言語２」
	ＢＳ／ＣＳアンテナ電源	「切」、「入（電源連動）」
	省電力モード	「入」、「切」
	視聴年齢制限設定	視聴年齢制限：「入」、「切」 / 許可年齢：「4」～「19」 / 暗証番号の変更
	B-CASカードID番号	
	電話回線設定	発信者番号通知設定、電話会社設定、マイラインプラス、ダイヤル設定、外線発信番号設定、電話回線接続確認
	郵便番号設定	郵便番号の変更
	バージョン	
	全ての設定を出荷状態に戻す	「はい」、「いいえ」

※ 設定条件により選択できない項目があります
（グレーで表示されます）。

各種設定のしかた

映像設定

メニュー画面で 映像設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で設定したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
それぞれ、[<] / [>]（または [∧] / [∨] ）**ボタン**で設定内容を変更できます。

映像モード

映像モードを切り換えます。
コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、シャープネスの設定は各映像モードごとに記憶されます。

モード	設定内容
あざやか	鮮やかで明るい映像
スタンダード	標準的な映像
シネマ	映画を見るのに適した映像
ユーザー	ユーザーのお好み設定用

コントラスト

画面の明暗の差を調節します。

明るさ

画面の明るさを調節します。

色の濃さ

画面の色の濃さを調節します。

色合い

画面の色合いを調節します。

色温度

高・中・低と切り換えるにつれて、
赤みがかった暖かみのある色調になります。

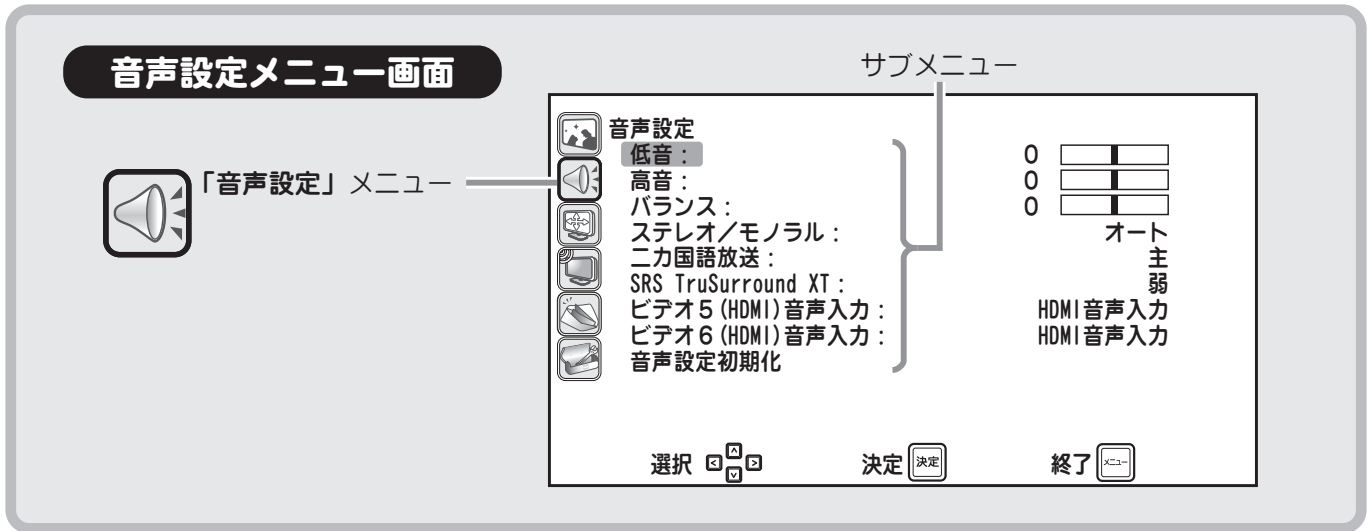
シャープネス

画面の輪郭を調節します。

映像設定初期化

[決定] **ボタン**を押すと、設定中の映像モードに関わる全項目が工場出荷時の設定に戻ります。

音声設定

メニュー画面で音声設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で設定したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
それぞれ [∧] / [∨] **ボタン**（または [<] / [>] **ボタン**）で設定内容を変更できます。

低音

低音域の強調度を設定します。

高音

高音域の強調度を設定します。

バランス

左右スピーカーの音量のバランスを設定します。
値が小さいほど左スピーカー寄りに、
大きいほど右スピーカー寄りになります。

ステレオ／モノラル

地上アナログ放送のみ、ステレオ / モノラル出力の設定ができます。

設 定	放送状態	テレビ音声出力
モノラル	モノラル放送	モノラル出力
	ステレオ放送	
オート	モノラル放送	モノラル出力
	ステレオ放送	ステレオ出力

各種設定のしかた

二カ国語放送（主音声・副音声・主音声 / 副音声）

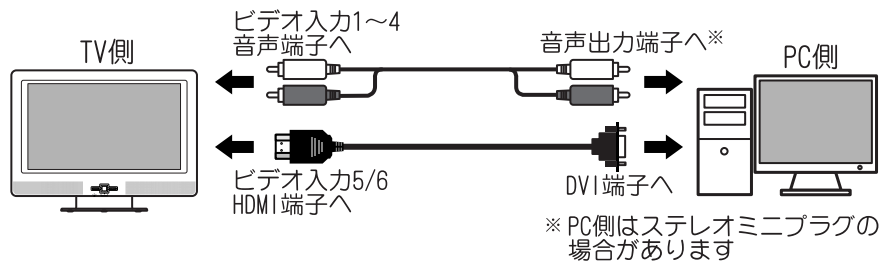
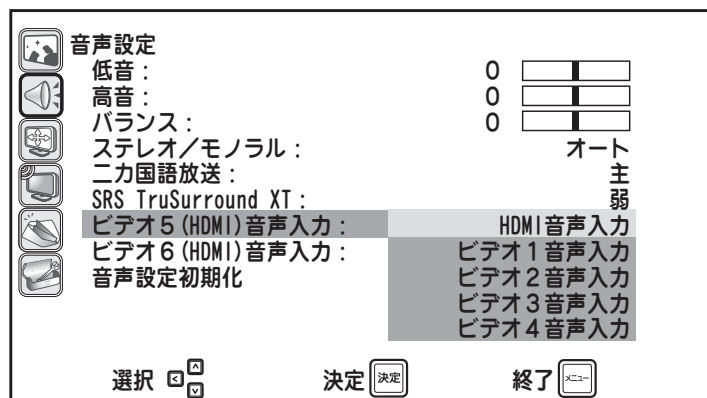
二カ国語放送の設定を行います。
この設定は音声切換ボタンを押しても変更することができます（☞39 ページ）。
※外部入力選択時はこのメニューを選択できません。

SRS TruSurround XT™

SRS TruSurround XT™ 機能を使うと、映画などの音声が迫力と立体感のある音で楽しめます。
※ SRS TruSurround XT™ は SRS Labs, Inc. が開発した、2 つのスピーカーで 5.1ch のリアルなマルチチャンネルサラウンドを再生するバーチャルサラウンド技術です。

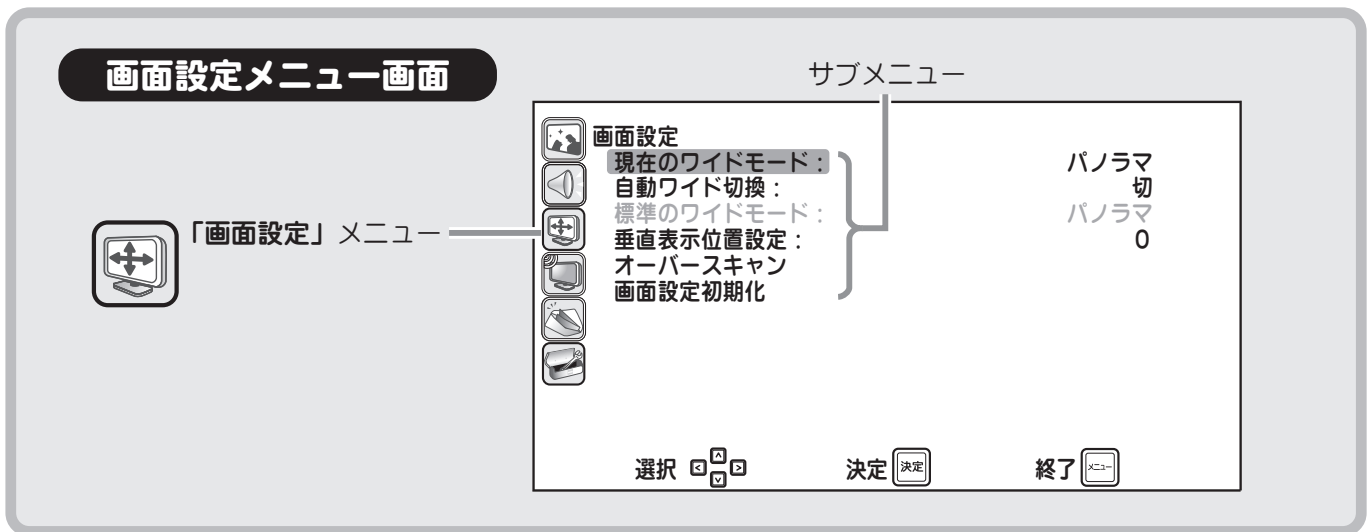
音声設定（つづき）

ビデオ 5/ ビデオ 6（HDMI）音声入力

パソコンなどの DVI 端子を本機のビデオ 5 または 6 の外部入力（HDMI）端子に接続した場合、音声が出力されません。その場合は本機のビデオ 1 ～ 4 入力いずれかの音声入力端子に接続する必要があります。

[∧] / [∨] **ボタン**で接続した音声入力端子を選択し、[決定] **ボタン**で設定します。

音声設定初期化

[決定] **ボタン**を押すと、サブメニューのステレオ / モノラル・二カ国語放送以外の項目が工場出荷時の設定に戻ります。

画面設定

メニュー画面で画面設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で設定したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
それぞれ、[∧] / [∨] **ボタン**で設定内容を変更できます。

現在のワイドモード

現在ご覧になっているチャンネル、またはビデオ入力映像のワイドモードを切り換えます。
※この設定はワイドボタンを押しても変更することができます（☞42 ページ）。
※フル、ノーマル、パノラマ、ズームのイメージについては 42 ページをご覧ください。

自動ワイド切換

自動ワイド切換を入にすると、映像信号に
ID-1 方式の縦横比情報が検出された場合、
自動ワイド切換機能が働きます。

ID-1 縦横比	動　作
4：3	標準モード設定に従います。
Letter Box	ズーム画面表示となります。
16：9	フル画面表示となります。

標準のワイドモード

アナログ放送受信時、および縦横比情報の入っていないビデオ入力映像のワイドモードを
設定します。
※フル、ノーマル、パノラマ、ズームのイメージについては 42 ページをご覧ください。
※地上アナログ放送では縦横比 4：3 の映像が送られてきます。本機は縦横比が 16：9 のワイドテレビのため、4：3 の映像を 16：9 に変換する方法をお好みに応じてお選びいただけます。
- 4：3 を 16：9 に拡大してワイド画面でご覧になりたい場合 .... パノラマ
- 4：3 の縦横比を変えずにオリジナルの映像をご覧になりたい場合 ...... ノーマル

※設定を「切」にすると、アナログ放送や縦横比情報の入っていないビデオ入力映像を視聴するときには、最後に設定していたワイドモードで表示されます。

画面設定（つづき）

垂直表示位置設定

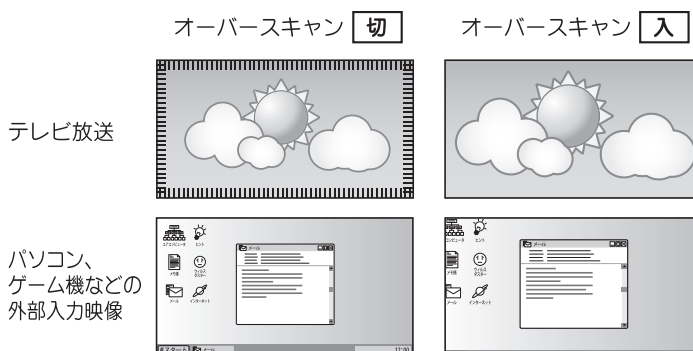
ズームおよびパノラマ画面のときに、画面位置を上下に調整できます。

オーバースキャン設定

放送局からは実際のテレビ画面よりも少し大きめの映像信号が送出されており、画面の縁の部分には不要な信号（データなど）があります。
オーバースキャン設定を「入」にすると、それらの不要な部分をカットして画面に映らないようにします。
パソコンやゲーム機など画面の縁いっぱいまで映像があるものは、オーバースキャン設定を「切」にしてください。

オーバースキャン 切　　オーバースキャン 入

テレビ放送

パソコン、
ゲーム機などの
外部入力映像

・通常のテレビ放送を見る場合 ....「入」を選びます。
・パソコンやゲーム機等の機器を接続する場合 ....「切」を選びます。

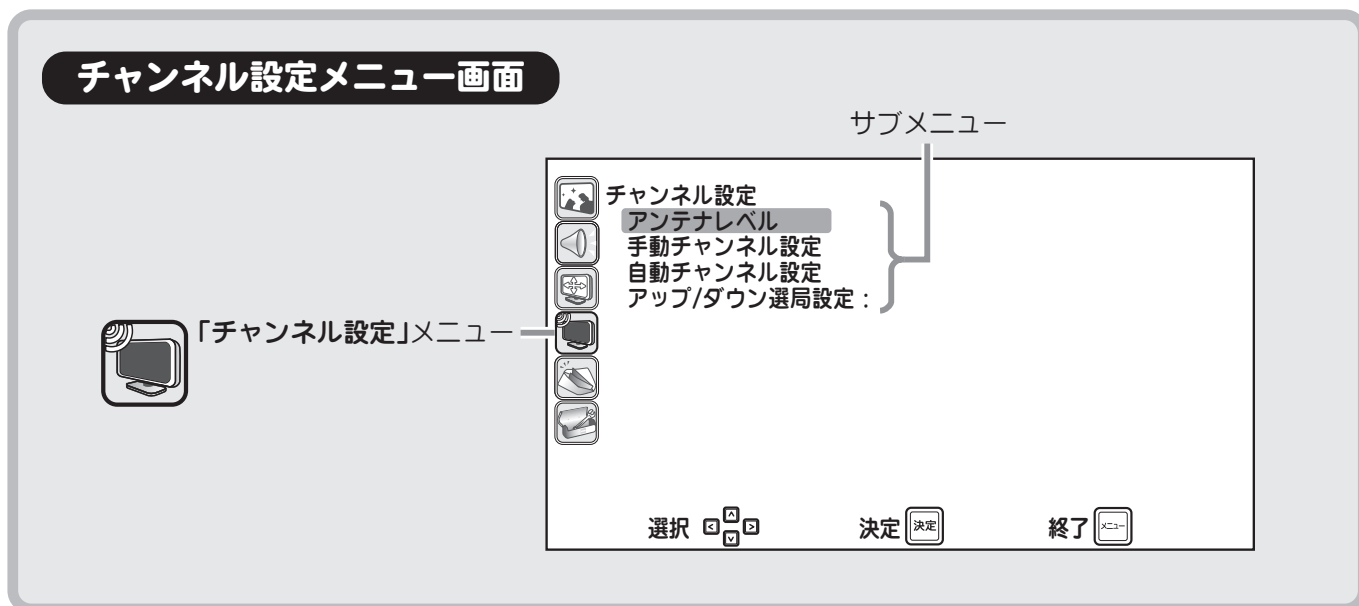
[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で設定します。

※設定をすべて初期状態に戻すには、[∧] / [∨] **ボタン**で「オーバースキャン設定初期化」を選択し、
[決定] **ボタン**を押してください。

画面設定初期化

[決定]**ボタン**を押すと、「現在のワイドモード」以外の項目が工場出荷時の設定に戻ります。

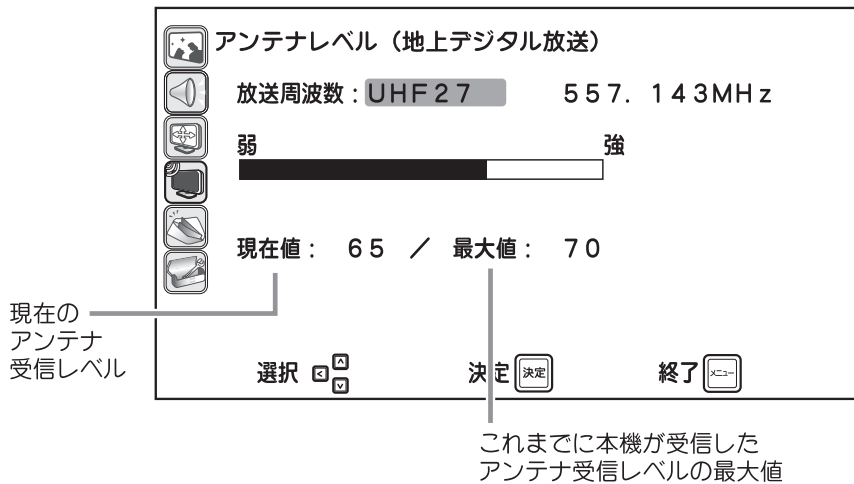
チャンネル設定

メニュー画面でチャンネル設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

チャンネル設定のサブメニューには 4 つの項目があります。
視聴している放送によって設定できる項目が次のように異なります。

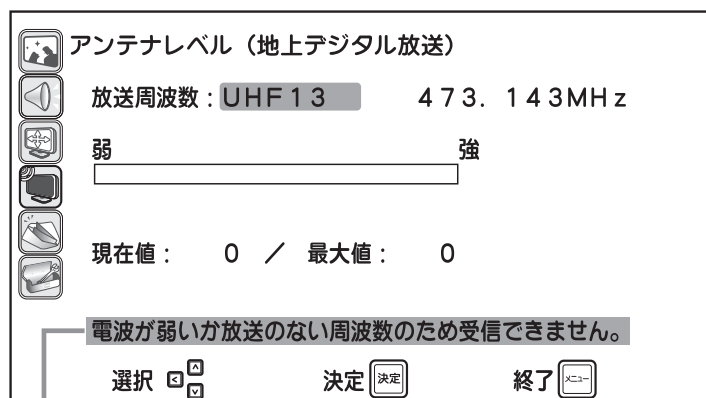
視聴中の放送 / チャンネル設定のサブメニュー	地上アナログ放送	地上デジタル放送	衛星デジタル放送
「アンテナレベル」（57 ページ）	×	○	○
「手動チャンネル設定」（58 ページ）	○	○	○
「自動チャンネル設定」（60 ページ）	○	○	×
「アップ / ダウン選局設定」（60 ページ）	×	○	○

チャンネル設定（つづき）

アンテナレベル（地上デジタル放送・衛星デジタル放送のみ）

チャンネル設定サブメニューで「アンテナレベル」を選択すると、下記の画面が表示されます。
現在ご覧になっているチャンネルのアンテナが受信している電波強度を確認することができます。

BS デジタル放送／110 度 CS デジタル放送に切り換えるには、BS/CS **ボタン**を押してください。
地上デジタル放送に切り換えるには、地上 **ボタン**を押してください。

このメニューでは、受信レベルを確認するだけで数値の変更はできません。
数値が極端に低く、画質が悪いときは、アンテナの向きを変更するなど設置条件を変更してください。
※受信レベルは地上デジタル放送の場合は 55* 以上、BS・CS デジタル放送の場合は 25* 以上となるようにしてください（☞22 ページ）。* 数値は目安です。チャンネルによっては受信できない場合もあります。

電波が受信できない場合は、表示画面下側に以下のように表示されます。

チャンネル設定（つづき）

手動チャンネル設定

手動チャンネル設定は、初期設定で自動的に割り当てられたリモコンボタンのチャンネル設定を変更するときに行います。
サブメニューで手動チャンネル設定を選択し、[決定] **ボタン**を押すと、選局ポジション**（地上アナログ放送：1～24、地上デジタル放送：1～20、BS デジタル放送：1～20、110 度 CS デジタル放送：1～64）**に登録されているチャンネルを設定できます。

■地上アナログ放送のチャンネル設定（24 チャンネル設定できます）

1 [地上] **ボタン**を押して、地上アナログ放送へ切り換えてから設定します。

ボタン	受信CH	表示CH	受信／スキップ
1	1	1	受信
2	2	62	受信
3	14	14	受信
4	4	4	受信
5	5	5	スキップ
6	C16	C16	受信
7	7	7	受信
8	8	8	スキップ
9	9	9	受信
10	10	10	受信
11	11	11	受信
12	12	12	受信
⋮	⋮	⋮	⋮
－－	24	24	スキップ

2 [∧]/[∨]**ボタン**で編集したいボタン番号を選び、[<]/[>]**ボタン**で「受信 CH」、「表示 CH」、または「受信／スキップ」を選択し、数字ボタン（11、12 を除く）または [∧]/[∨]**ボタン**を使って設定値を変更します。

受信 CH・表示 CH：数字ボタン（11、12 を除く）または [∧] / [∨] **ボタン**で変更できます。

※数字ボタンの使用例
1ch を選択する場合 ： [10/0] [1] **ボタン**を続けて押します。
16ch を選択する場合： [1] [6] **ボタン**を続けて押します。

[∧] **ボタン**を押すと 1ch…→ 62ch…→ C13ch…→ C63ch…→ 1ch と変わり、
[∨] **ボタン**を押すと逆方向に変わります。

受信／スキップ ： [∧] / [∨] **ボタン**を押すと「受信」と「スキップ」交互に切り換わります。

3 [メニュー] **ボタン**を押すとメニューを終了します。

※外部入力選択時は手動チャンネル設定メニューを選択できません。
※編集したいボタン番号の選択は、カーソルがボタン番号にあるときのみ可能です。

チャンネル設定（つづき）

■地上デジタル放送のチャンネル設定（20チャンネル設定できます）

1 地上 **ボタン**を押して、地上デジタル放送へ切り換えてから設定します。

2 ∧/∨**ボタン**で設定変更したい放送局を選び、決定 **ボタン**を押します。
次に∧/∨**ボタン**で割り当てるボタンの数字を選び、決定 **ボタン**を押します。

3 メニュー **ボタン**を押すとメニューを終了します。

■衛星デジタル放送（BS／CS）のチャンネル設定

（BSは20チャンネル、CSは64チャンネル設定できます）

BS/CS **ボタン**を押して、衛星デジタル放送へ切り換えてから設定します。

設定方法は上記の地上デジタル放送の場合と同様です。

※画面はBSデジタル放送の場合です。

※衛星デジタル放送はすべて全国放送のため、地域表示ではなく、
3桁チャンネル番号が表示されます。

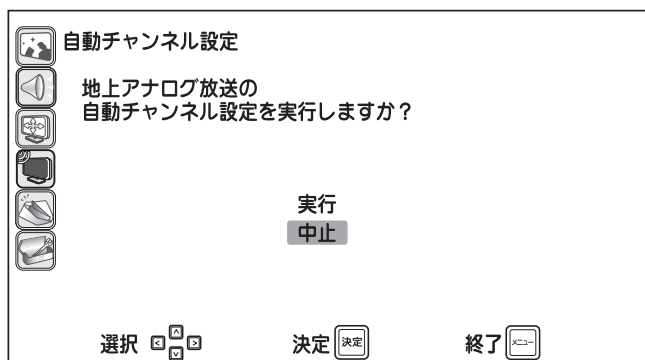
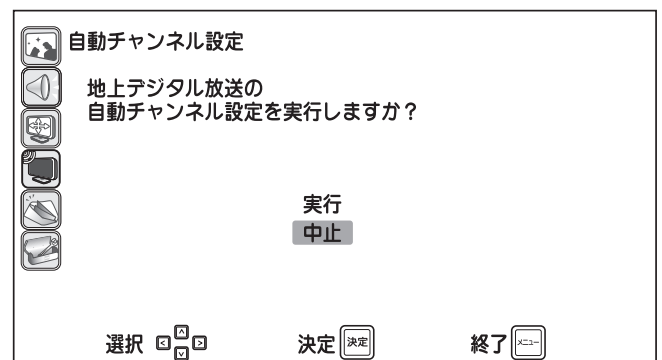
各種設定のしかた

チャンネル設定（つづき）

自動チャンネル設定

自動チャンネル設定は、初期設定でチャンネルが受信できなかったときや、引越しで受信地域が変わったとき、新たに放送局が開局したりしてチャンネルが増えた場合に行います。

サブメニューで自動チャンネル設定を選択し、[決定] **ボタン**を押すと、以下のメッセージが表示され、自動チャンネル設定の実行・中止を選択できます。画面は最初、中止が選択されています。
[∧] / [∨] **ボタン**で「実行」を選択し、[決定] **ボタン**を押すと受信チャンネルの自動スキャンを開始します。

■地上アナログ放送の設定画面

■ 地上デジタル放送の設定画面

※自動チャンネル設定については、「初期設定をする」（☞25 ページ）をご覧ください。
※外部入力選択時は自動チャンネル設定メニューを選択できません。

アップ / ダウン選局設定

選局（▲/▼）ボタンを押すと、チャンネル設定でリモコンボタンに割り当てられたチャンネルのみを選局しますが、アップ / ダウン選局設定を「すべて」にすると割り当てられていないチャンネルも**選局（▲/▼）ボタン**で選局することができます。
※アップ / ダウン選局設定は、地上 /BS/CS 放送ごとに設定することができます。

1 [地上] **ボタン**、または [BS/CS] **ボタン**で設定したい放送に切り換えます。

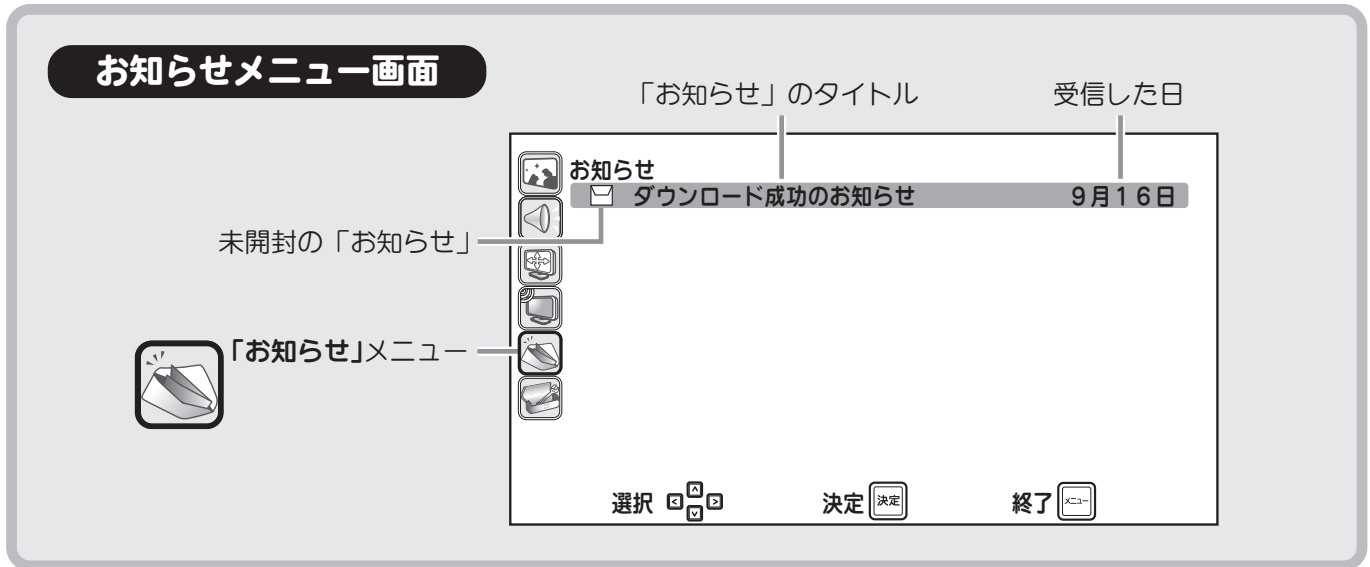
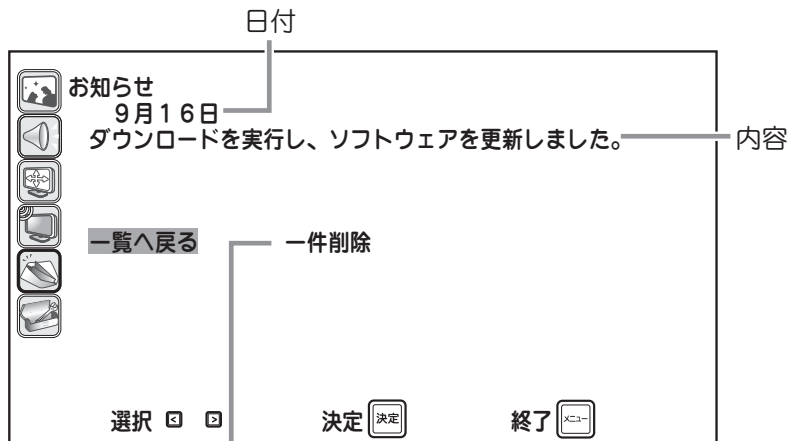
2 チャンネル設定のサブメニューで「アップ / ダウン選局設定」を選択し、[決定] **ボタン**を押します。

3 [∧] / [∨] **ボタン**で「すべて」または「割り当てボタンのみ」を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
- 割り当てボタンのみ：リモコンボタンに割り当てらたチャンネルのみ選局します。
- すべて：リモコンボタンに割り当てられていないチャンネルもすべて選局します。

4 [メニュー] **ボタン**を押すとメニューを終了します。

各種設定のしかた

お知らせ

本機に未読のお知らせがあるときは、電源を入れた際に画面左下に「お知らせがあります」というメッセージがしばらく表示されます。お知らせを見るときは、第１階層のメニュー画面で「お知らせ」を [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側には第２階層のサブメニュー（リスト）が表示されます。
※お知らせが１件もない場合は「お知らせはありません」と表示されます。

サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で表示したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押すとその詳細が表示されます。

ご注意

- お知らせは最大 32 件まで保存されます。32 件を超えて新たに受信した場合は、一番古いお知らせから削除されます。

その他の設定

メニュー画面でその他の設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

※ソフトウェアは自動更新されます。
表示されるバージョン名はソフトウェアにより異なります。

入力端子の設定

サブメニューで「入力端子の設定」を選択し、[決定] **ボタン**を押すと、外部映像・音声入力端子の名称を変更できます。
また、入力切換時に内蔵のチューナー（地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送）や外部入力をそれぞれスキップ状態にすることもできます。

■外部入力端子の画面表示名を変える

入力切換の際に画面に表示される入力端子名（ビデオ 1、2、3 など）を、お使いの外部機器名に合わせて変えることができます。

[∧]/[∨]**ボタン**で名称変更する入力端子を選択して [決定] **ボタン**を押し、[∧]/[∨]**ボタン**で名称を変えます。
名称は次の表から選択できます。

画面表示	割り当て例
---	未設定（標準名称「ビデオ 1」「ビデオ 2」「ビデオ 3」「ビデオ 4」「ビデオ 5」「ビデオ 6」使用）
DVD	DVD プレーヤー・レコーダー
DVD1	
DVD2	
VTR	ビデオテープレコーダー
VTR1	
VTR2	
HDD レコーダー	ハードディスクレコーダー
HDD レコーダー 1	
HDD レコーダー 2	
CATV	ケーブルテレビ（セットトップボックス、ホームターミナル）
ゲーム	ゲーム機
ゲーム 1	
ゲーム 2	
PC	パソコン
スキップ	外部入力を無効にします。（入力切換時にスキップします。）

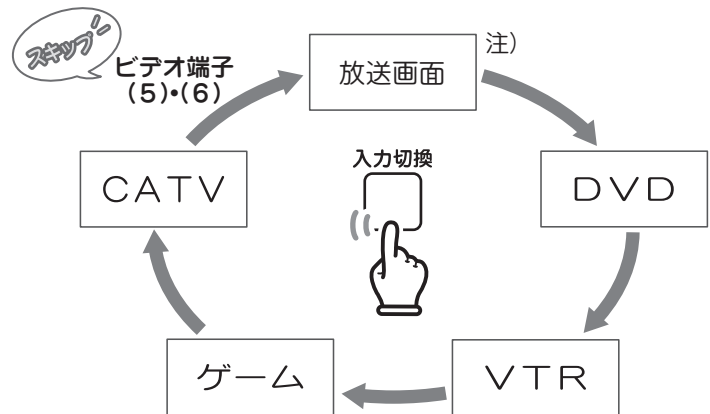
その他の設定（つづき）

入力端子の設定（つづき）

■使わないチューナーや外部入力をスキップする

入力切換の際に、お使いでない外部入力端子や内蔵のチューナー（地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送）をスキップすることができます。

下記のように設定した場合、［入力切換］ボタンを押すごとに右図のように切り換わります。

例)		
チューナー（地上アナログ放送）	:	―――
チューナー（地上デジタル放送）	:	―――
チューナー（BS）	:	―――
チューナー（CS）	:	―――
ビデオ端子 1	:	DVD
ビデオ端子 2	:	VTR
ビデオ端子 3	:	ゲーム
ビデオ端子 4	:	CATV
ビデオ端子 5	:	**スキップ**
ビデオ端子 6	:	**スキップ**

注）地上アナログ/地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル放送のうち、現在視聴中のいずれか１つが表示されます。
（本体前面のVIDEOボタンを押して切り換えた場合はすべての放送が表示されます。）

※［メニュー］**ボタン**を押すとメニューを終了します。

※設定をすべて初期状態（―――）に戻すには、［∧］/［∨］**ボタン**で「入力端子設定の初期化」を選択し、［決定］**ボタン**を押してください。

字幕設定

字幕表示の設定を行います。

・切：　表示しない
・言語１：　言語１を表示
・言語２：　言語２を表示

［∧］/［∨］**ボタン**で選択し、［決定］**ボタン**で設定します。

文字スーパー設定

文字スーパーの表示設定を行います。

・切：　表示しない
・言語１：　言語１を表示
・言語２：　言語２を表示

［∧］/［∨］**ボタン**で選択し、［決定］**ボタン**で設定します。

その他の設定（つづき）

BS/CS アンテナ電源

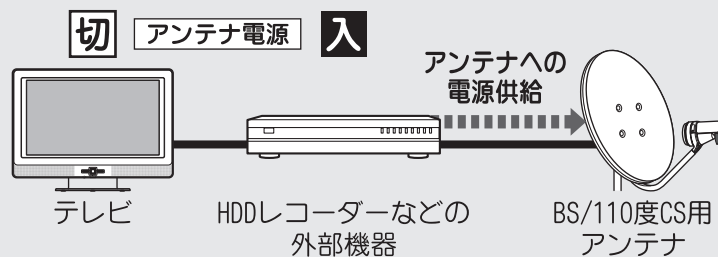
接続した BS/CS アンテナへ本機から電源を供給する・しないを設定します。

・切：　　　　　　電源を供給しない
・入（電源連動）：電源を供給する

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で設定します。
※マンションなどの共聴設備をご使用の場合は「切」にしてください。

ご注意

● HDD レコーダーなど本機以外の機器が同じアンテナに接続されている場合は「切」に設定し、それらの機器側から電源が供給されるようにしてください。
（本機から電源供給すると、本機の電源がオフの場合、録画予約時などにアンテナ電源が供給されず、録画に失敗することがあります。）

●外部機器接続の一例

ご参考

● 入（電源連動）にすると、本機の電源を入れて視聴している間アンテナ電源が供給されます。電源を切ると、アンテナ電源の供給も止まります。

省電力モード

省電力モードの入・切を設定します。省電力モードに設定すると、表示中の画面の明るさを抑えて本機の消費電力を低減します。
※省電力モードにすると、画面が多少暗くなります。

・入：設定する
・切：設定しない

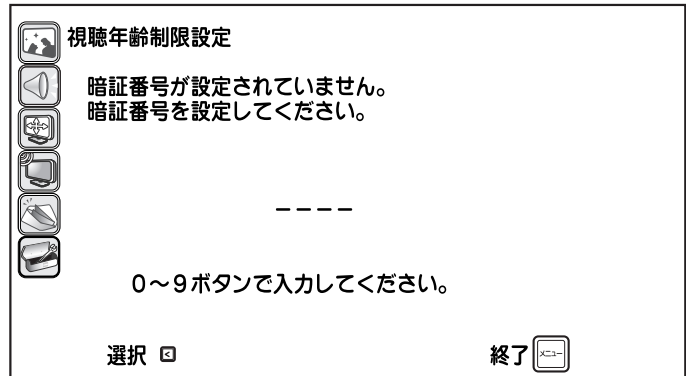
[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で設定します。

その他の設定（つづき）

視聴年齢制限設定

視聴年齢制限を設定すると、例えばお子様に見せたくない成人向け番組などは、暗証番号を入力しないと視聴できなくすることができます。

■設定のしかた（初回時のみ）

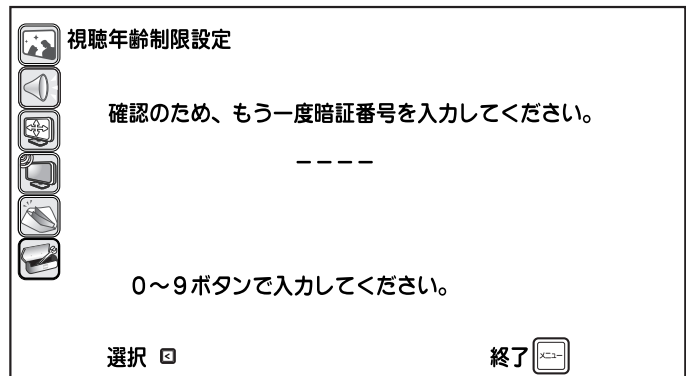
1 「その他の設定」サブメニューから「視聴年齢制限設定」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、暗証番号設定画面が表示されます。

2 お好きな 4 桁の暗証番号を決め、

 ボタンで入力します。

（入力した数字は「＊」で表示されます。）

ご注意

- 設定した暗証番号は忘れないよう右欄にメモしておいてください。
  もし暗証番号を忘れてしまった場合は本機の設定初期化（☞70 ページ）が必要になります。

3 確認のため再度入力します。

4 設定画面が表示されますので、各項目を設定します。

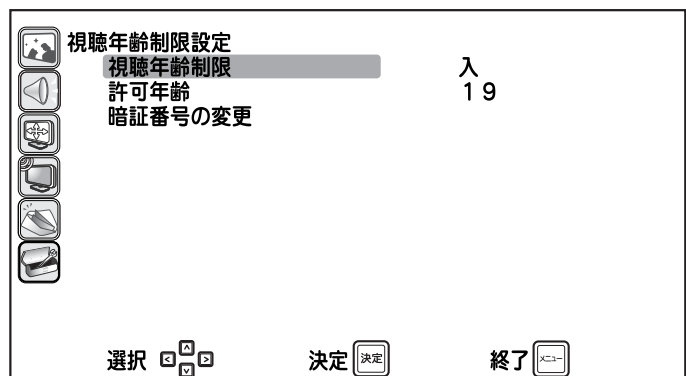
視聴年齢制限：

入（制限する）・切（しない）

許可年齢：

見せてよい年齢（4 歳～ 19 歳）

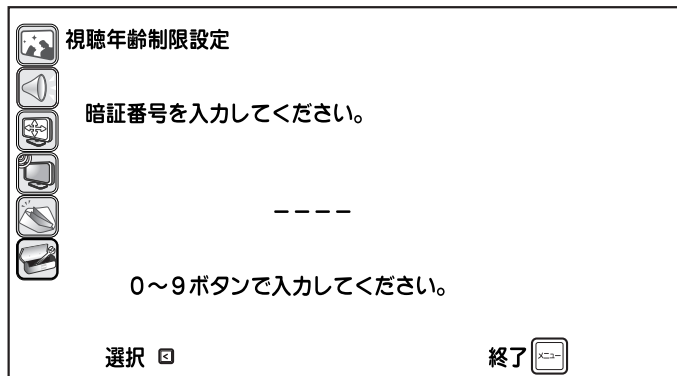
暗証番号の変更：

暗証番号の変更画面を表示します。

各種設定のしかた

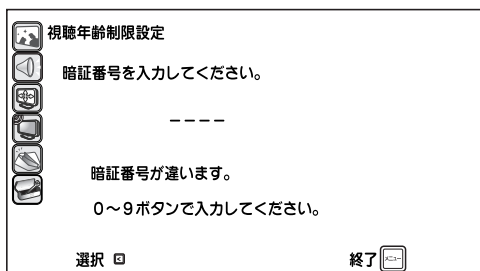
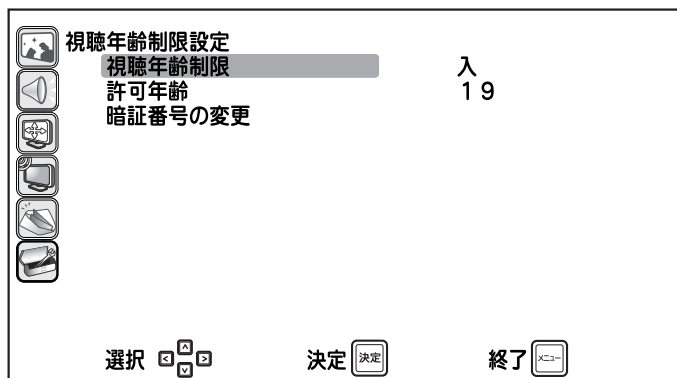
その他の設定（つづき）

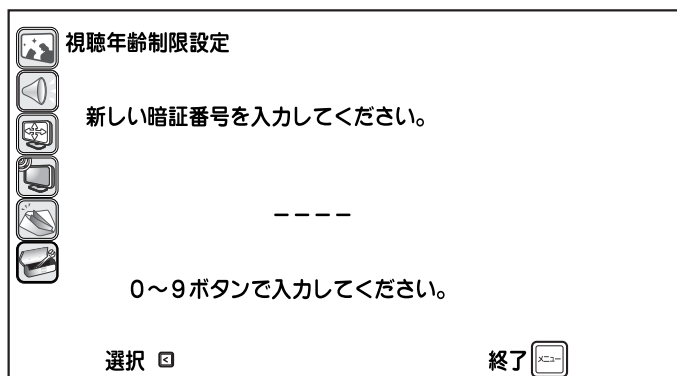
視聴年齢制限設定（つづき）

■設定のしかた（2 回目以降）

1 「その他の設定」サブメニューから「視聴年齢制限設定」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、暗証番号入力画面が表示されます。

2 暗証番号を [10/0] ～ [9] **ボタン**で入力します。

ご参考

- 入力した暗証番号が間違っている場合は右の画面が表示されます。正しい暗証番号を再度入力してください。

3 設定画面が表示されますので、項目を選んで設定または変更をします。

■暗証番号を変更する

1 上記手順 3 の画面で「暗証番号の変更」を選んで [決定] **ボタン**を押すと右の画面が表示されます。
新しい暗証番号を入力します。

2 確認のため再度入力します。
入力が完了すると新しい暗証番号が設定され、ひとつ前の画面に戻ります。

各種設定のしかた

その他の設定（つづき）

B-CASカードID番号

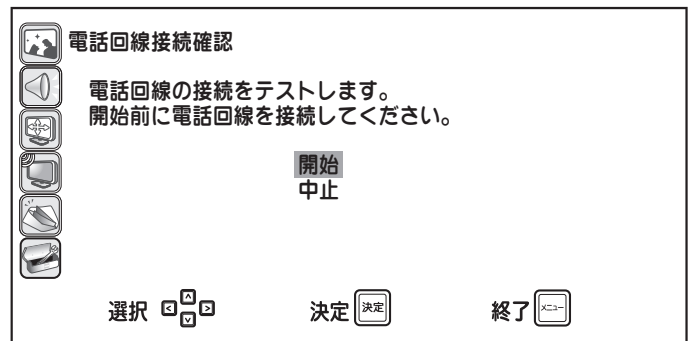
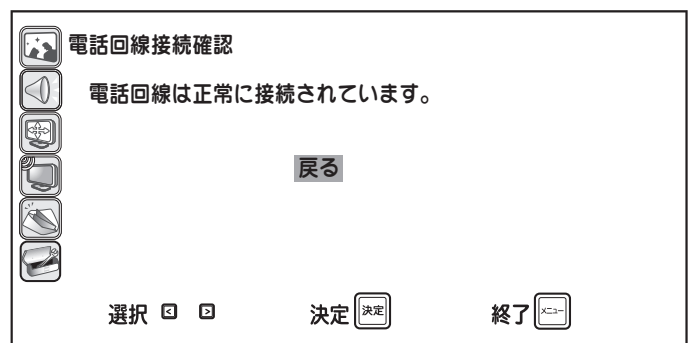
B-CAS カード ID 番号を表示します。

電話回線設定

■電話回線接続確認

接続が正しく行われたか、また電話回線設定がお使いの電話と合っているか確認します。
本機をはじめてお使いになるときは必ず接続テストを行ってください。

1 **∧ / ∨ ボタンで「開始」を選び、決定 ボタンを押します**

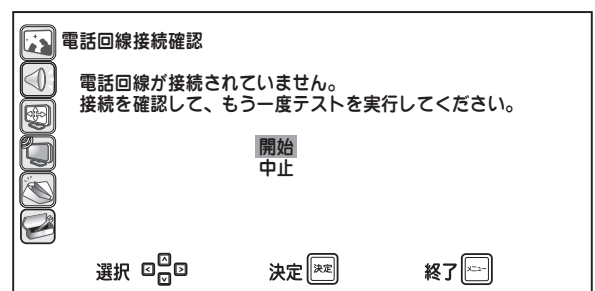
接続テストを開始します。

2 **決定 ボタンを押します**

電話回線設定メニューに戻ります。

※ステップ 1 で次の画面が表示された場合はそれぞれの接続を確認し、再度テストを行ってください。

■電話回線が接続されていない場合に表示されます。

ココを確認！

・電話機コードが正しく接続されているか確認してください .... ☞22 ページ
・ダイヤル設定を確認してください .... ☞68 ページ
・外線発信番号設定を確認してください .. ☞68 ページ

各種設定のしかた

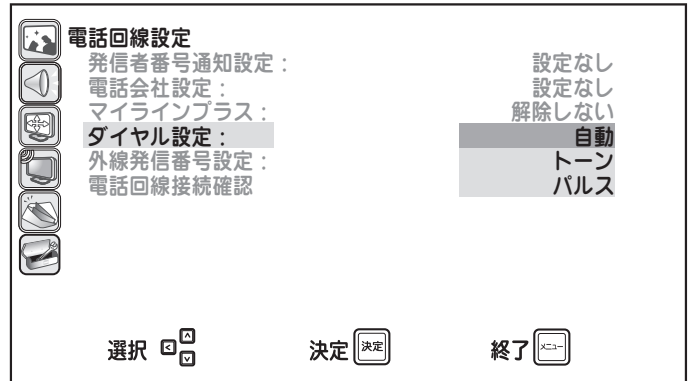
その他の設定（つづき）

■ダイヤル設定

お使いの電話がトーン（プッシュ）回線か、またはパルス（ダイヤル）回線かを設定します。

∧ / ∨ ボタンで項目を選び、決定 ボタンを押します

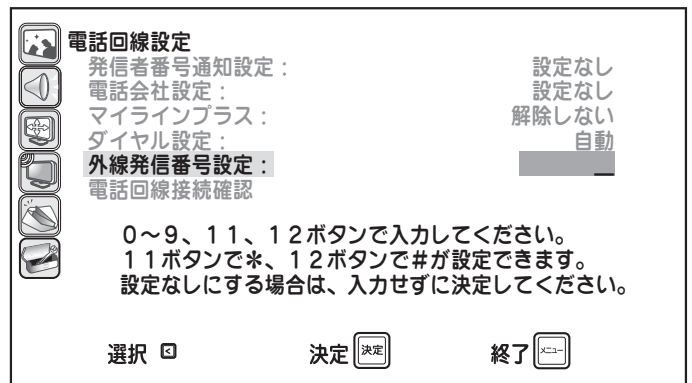
お使いの電話回線がどちらかわからない場合は「自動」に設定します。

※ダイヤルボタンを押すと「ピッポッパ」と音が出る場合はトーン回線です。

■外線発信番号設定

会社法人や学校など、電話交換機（PBX）を使用している（外線に電話をする際、電話番号の頭に「0」や「9」をつける）場合に設定します。

※上記に当てはまらない場合は「なし」に設定します。
　その場合は何も入力せずに 決定 ボタンを押してください。

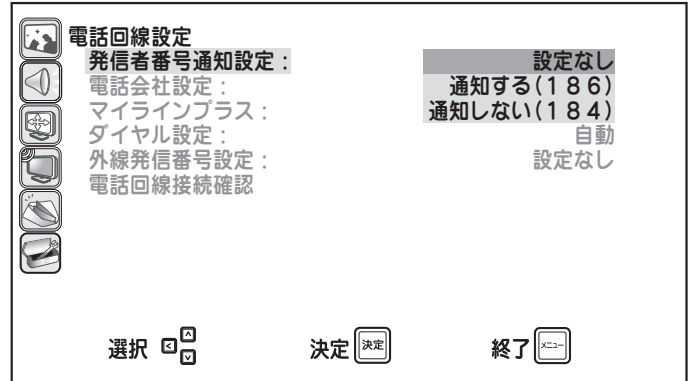
リモコンの数字ボタンで外線発信番号を入力し、決定 ボタンを押します

各種設定のしかた

その他の設定（つづき）

■発信者番号通知設定

通信時、放送局などの相手先に電話番号を通知する・しないを設定できます。

∧ / ∨ ボタンで項目を選び、決定 ボタンを押します

「設定なし」　　　　　：電話会社との契約に従います。
「通知する（186）」　：番号を常に通知します。
「通知しない（184）」：番号を常に通知しません。

■電話会社設定

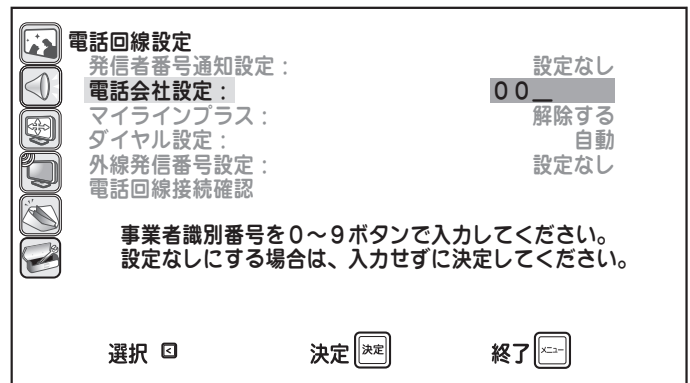
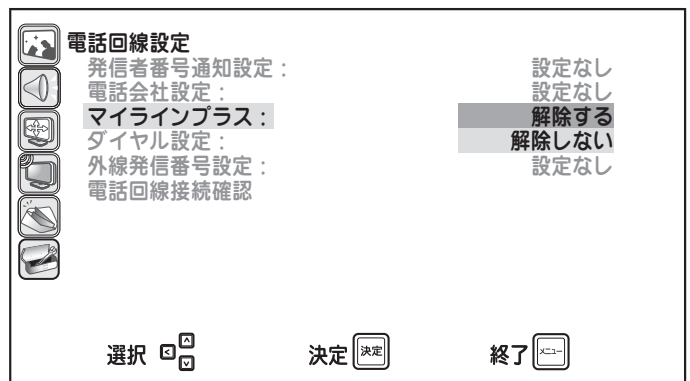
本機から電話をかけるときの電話会社を指定したい場合に設定します。

1 10/0 ～ 9 の数字ボタンで事業者識別番号を入力し、決定 ボタンを押します

上位 2 桁（00）は固定です。下位の番号（4 桁以内）を入力してください。

※事業者識別番号がわからない場合はご利用の電話会社にお問い合せください。

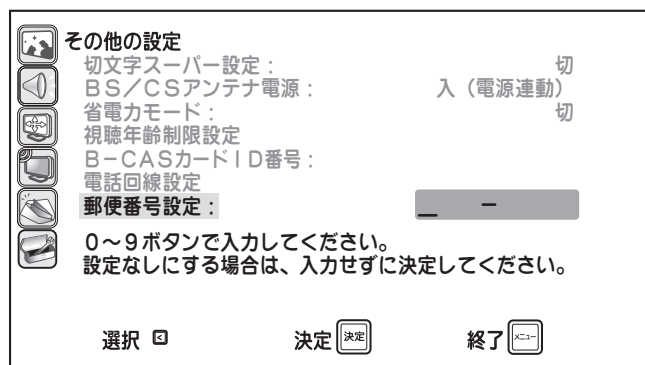
※番号を入力せずに 決定 ボタンを押すと、「設定なし」になります。

電話回線設定
発信者番号通知設定：　設定なし
電話会社設定：　００＿
マイラインプラス：　解除する
ダイヤル設定：　自動
外線発信番号設定：　設定なし
電話回線接続確認
事業者識別番号を０～９ボタンで入力してください。
設定なしにする場合は、入力せずに決定してください。
選択　決定　終了

2 マイラインプラス（電話会社固定サービス）をご契約の場合は、「解除する」を選んで 決定 ボタンを押します

各種設定のしかた

その他の設定（つづき）

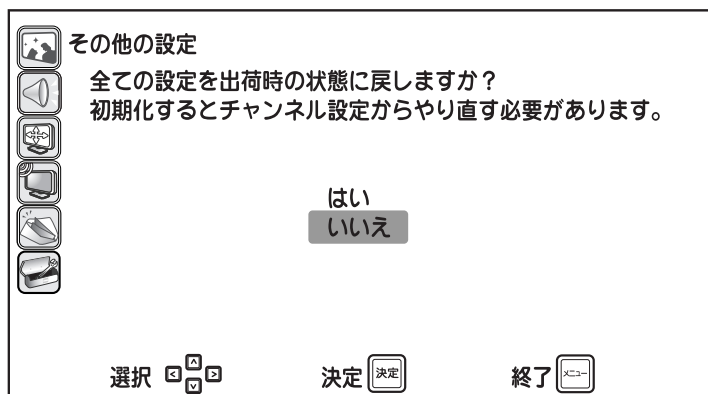
郵便番号設定

お住まいの地域の郵便番号を入力します。

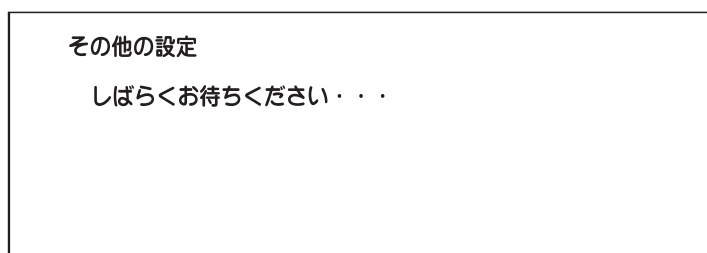
リモコンの数字ボタンで入力し、
決定 **ボタン**を押しします。

バージョン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

全ての設定を出荷状態に戻す（工場出荷時設定に戻す）

本機のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選択し、決定 **ボタン**を押すと初期化を開始します。

その他の設定

しばらくお待ちください・・・

初期化が完了すると、初期設定前の状態（☞24 ページ）になります。

- 初期化には数秒かかります。
- 初期化中はすべてのボタン操作ができません。
- 初期化中は、絶対に電源プラグを抜かないでください。

5

第 5 章

ご参考

おもな仕様

品名			液晶カラーテレビ				
受信機型サイズ			20V	27V	32V	37V	42V
液晶パネル	画面サイズ		縦約 24.9cm ×横約 44.4cm	縦約 33.6cm ×横約 59.7cm	縦約 39.2cm ×横約 69.8cm	縦約 46.3cm ×横約 82.2cm	縦約 52.4cm ×横約 93.1cm
	表示方法		透過型 TN 液晶	透過型 MVA 液晶			
	駆動方式		TFT アクティブマトリックス方式				
	解像度		横 1366 ×縦 768			横 1920 ×縦 1080	
使用光源			内部光（蛍光管内蔵）				
受信チャンネル			地上アナログ : VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（1 ～ 12、C13 ～ C63） 地上デジタル : VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（C13 ～ C63） BS デジタル : BS000 ～ 999、110 度 CS デジタル : CS000 ～ CS999				
対応映像フォーマット			480i, 480p, 1080i, 720p, 1080p				
スピーカー			5 cm × 9 cm 長円（2 個）	6 cm × 12 cm 長円（2 個）			
音声実用最大出力			総合 6 W（3 W + 3 W）	総合 10 W（5 W + 5 W）			
接続端子			電源端子、ヘッドフォン出力端子、電話回線端子、VHF / UHF アンテナ入力端子、 地上デジタルアンテナ入力端子、BS/110 度 CS アンテナ入力端子、ビデオ入力 2 系統、 S ビデオ入力 1 系統（ビデオ入力 1 共用）、HDMI 入力 2 系統、 コンポーネントビデオ入力 2 系統、音声出力 1 系統				
使用電源			AC 100V・50/60Hz				
使用温度			0℃～ +40℃				
消費電力	地上波放送受信時		76W	127W	157W	225W	246W
	待機時		0.1W	0.1W	0.1W	0.1W	0.1W
年間消費電力量（スタンダード時）			101kWh/ 年	150kWh/ 年	191kWh/ 年	255kWh/ 年	296kWh/ 年
区分名			BEE	BEE	BEE	BII	BII
外形寸法	テーブルスタンド含む（一部突起を除く）	幅	55.9 cm	75.0 cm	86.3 cm	97.5 cm	110.8 cm
		奥行	23.8 cm	29.2 cm	29.2 cm	35.2 cm	35.2 cm
		高さ	45.5 cm	59.1 cm	65.5 cm	73.5 cm	82.6 cm
本体質量			約 10 kg	約 16kg	約 22kg	約 32 Kg	約 37 Kg

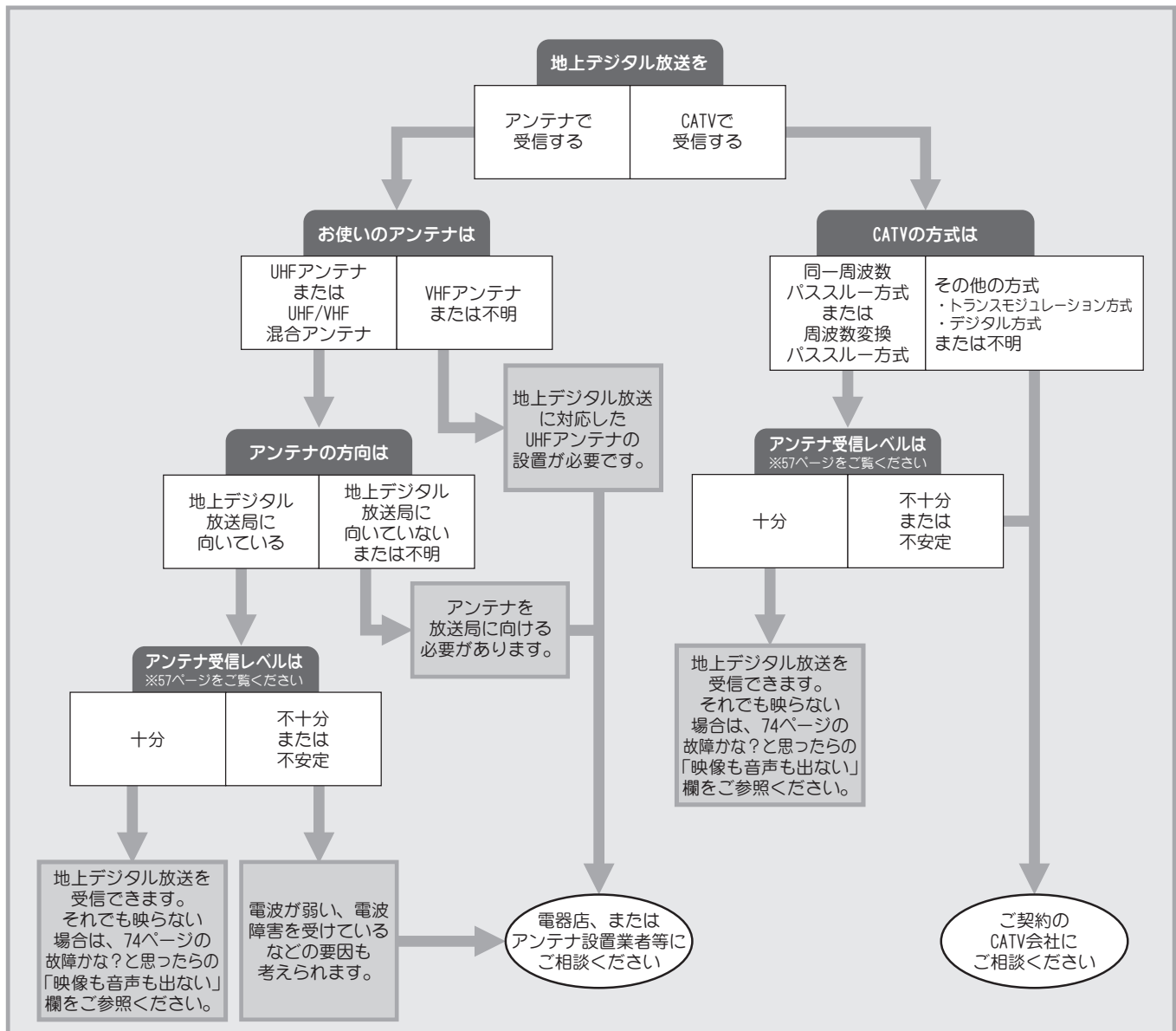
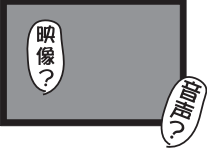
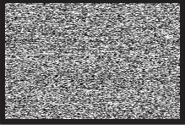
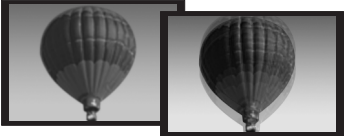
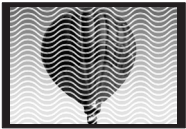
- 年間消費電力量は、「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」に基づき、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5 時間）を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。
- 区分名は、省エネ法でテレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づき区分されたものです。
- 本機のメニュー画面や画面で表示されるフォントとして、株式会社リコーが製作したリコービットマップフォントを使用しています。
- パソコンの解像度について
  - ・ 本機では、下表の映像フォーマットに対応しています。
  - ・ 本機が対応している映像信号を入力しても、パソコンによっては正しく表示できない場合があります。

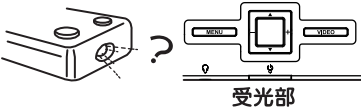
対応映像フォーマット（ピクセル）		水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
VGA	640 × 480	31.5	60
XGA	1024 × 768	48.4	60
WXGA	1360 × 768	47.7	60
525p（480p）	720 × 480	31.5	60
1125i（1080i）	1920 × 1080	33.8	60
750p（720p）	1280 × 720	45.0	60
1125p（1080p）	1920 × 1080	67.5	60

- 本製品は、データ放送 BML ブラウザとして株式会社 ACCESS の NetFront DTV Profile を搭載しています。

※ NetFront は、株式会社 ACCESS の日本及びその他の国における登録商標又は商標です。
※本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

地上デジタル放送が受信できないときは

地上・衛星デジタル放送が正しく受信できない場合は、下記のフローチャートにしたがってお確かめください。また、必要に応じて電器店、アンテナ設置業者、CATV会社等にお問い合わせください。

・ アンテナの設置や地上・衛星デジタル放送に対応したアンテナかどうかについて、詳しくは電器店やアンテナ設置業者等にご相談ください。
・ CATVをお使いの場合、詳しくは各CATV会社にご相談ください。
・ マンションなど集合住宅の場合、詳しくはお住まいの管理組合または管理会社等にご相談ください。
・ 地上デジタル放送は 現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で送信されますので受信エリアが限定されます。
・ 受信障害のある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
・ 専用のUHFアンテナ、デジタル放送対応のブースター・分配器などの機器が必要なことがあります。
・ 地上デジタル放送局からの送信出力が増大されたときは、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要になることがあります。
・ 本機では地上デジタル放送の電波の送出の変更に関する情報、周波数変更、新規の変更などを電波を通じて受信すると、「お知らせメッセージ」にメッセージが追加されます。それに合わせてチャンネルの再設定を行ってください。
・ 地上アナログ放送などの電波の送出の変更については、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。
次のことを調べても、なお異常があるときは、お客様センターへお電話いただくか、
または当社ホームページよりお問い合わせください。（☞裏表紙をご覧ください）

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
映像も音声も出ない 映像？ 音声？	●電源コードが正しく接続されていますか？ ●リモコンまたは本体の電源ボタンを押しましたか？ ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？ ●アンテナおよび各機器の接続は正しいですか？ ●各種設定は正しいですか？	23 32 20 18 ～ 29 51, 52
映像が出ない **外部入力映像が出ない** 映像？	●明るさとコントラストは正しく調整されていますか？ ●ケーブルが正しく差し込まれているか確認してください。	51 28
音声が出ない 音声？	●音量調整が最小になっていませんか？ ●消音になっていませんか？ ●ヘッドフォンを差し込んだままになっていませんか？	32 32 46
映像も音声も出ない **ノイズしか出ない**	●アンテナケーブルが抜けていませんか？ ●放送のないチャンネルの電波を受信していませんか？	18 ～ 20 32
映りが悪い	●アンテナケーブルが抜けていませんか？ ●電波状態が悪いことが考えられます。	18 ～ 20 –
色合いが悪い **色が薄い**	●色合い、色の濃さは正しく調整されていますか？	51

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
画面が暗い	●明るさ調整が低い段階に設定されていませんか？ ●明るさとコントラストは正しく調整されていますか？ ●蛍光管の寿命が考えられます。	51 51 78
映像が不鮮明 **映像がゆれる**	●電波状態が悪い場合が考えられます。 ●アンテナの方向がずれていませんか？ ●屋外アンテナのアンテナ線がはずれていませんか？	― ― 18 ～ 20
画像が２重３重になる	●アンテナの方向がずれていませんか？ ●山やビルからの反射電波の影響も考えられます。	― ―
画面にはん点が出る	●自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波の影響が考えられます。	10
色じま模様が出たり、 **色が消える**	●他の機器からの影響（妨害電波）を受けていませんか？また、ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合や、携帯電話の使用なども考えられます。 ●妨害電波を出していると考えられる他の機器から、なるべく離れた場所でお使いください。	12 ―
映像が横長や縦長になる	●自動ワイド切換が「切」になっていませんか？入力信号に合わせてワイドモードを切り換えてください。	42、54
映像がモザイク状になる	●電波状態が悪い場合が考えられます。 ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？	20 20

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
BS/CS 放送が映らない、映らなくなった	●大雨や大雪などの悪天候の際、またアンテナに雪が積もっているなどの場合には電波が弱くなり、一時的に降雨対策放送に切り替わったり、受信できなくなることがあります。 ●降雨対策放送は通常の放送より画質が低下しますが、電波が強くなると自動で通常の放送に戻ります。	― ―
字幕が出ない	●字幕の設定が「切」になっていませんか？ ●字幕のある番組を視聴していますか？	63 38
リモコンが動作しない 受光部	●電池は正しい向きで入っていますか？ ●リモコンの電池寿命が考えられます。 ●蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？	17 17 17
「カチッ」と音がする	●本機の電源が待機中の場合でも、電子番組表の取得やソフトウェアのダウンロードを自動的に行うため、「カチッ」と動作音がすることがあります。	34、78
電子番組表に表示される番組が少ない	●本機の電源を待機中にしておくと、電子番組表が自動的に取得されます。 ●長時間電源コードやアンテナケーブルをはずしたあとに電源を入れると、電子番組表に表示される番組が少なくなることがあります。	34 23、34

●本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このようなときは一度電源プラグをコンセントから抜き、数分後、再度コンセントに差し込み、電源を入れてご使用ください。

エラーメッセージ

画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、放送を視聴できません。

メッセージ	内　容
放送休止中かアンテナに問題があるため 受信できません。	• 電波状況が悪いことが考えられます。アンテナケーブルが抜けていませんか？（☞18, 19 ページ）
受信できるチャンネルがありません。アンテナ接続を確認して自動チャンネル設定を行ってください。	• アンテナが正しく接続されていないまま、初期設定を行ったことが考えられます。アンテナ接続を確認して自動チャンネル設定を行ってください。 （☞60 ページ）
B-CAS カードを正しく挿入してください。	• B-CAS カードが正しく挿入されていないときに表示されます。B-CAS カードを正しく挿入してください。
B-CAS カードの交換が必要です。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください。 コード : ※※※※	• B-CAS カードの交換が必要なときに表示されます。 • B-CAS カードが壊れたり、異なる IC カードが挿入されているときに表示されます。 • B-CAS カードの交換が必要な場合には、 http://www.b-cas.co.jp/refer.html ㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターにお問い合わせください。
この B-CAS カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください。 コード : ※※※※	
この B-CAS カードは使用できません。 正しい B-CAS カードを挿入してください。 コード : EC01	
このB-CASカードではご覧になることができません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください。 コード : EC02	
BS/CSアンテナ電源がショートしているため設定を「切」にしました。	• BS/CS アンテナ電源のショート検出時に表示されます。アンテナの接続を確認してください。

ソフトウェアのダウンロード

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは、本機のソフトウェアを最新の内容に書き換えて、機能の追加や改善を行うためのものです。本機はBSまたは地上デジタル放送によるソフトウェアの自動ダウンロードに対応していますので、操作や設定を行うことなく常に最新版に更新されたソフトウェアでご使用いただけます。

■ 自動でダウンロードが行われるためには

- あらかじめ本機の電源を入れ、BSまたは地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです。）
- ダウンロードは電源待機状態（電源ランプ赤点灯）のときだけ行われます。

■ダウンロードが正常に終了すると

- ダウンロード成功のお知らせが届きます。メニューから「お知らせ」を選択して確認します。（☞61ページ）

■ソフトウェアのバージョンを確認するには

- メニューから「その他の設定」を選択して確認します（☞70ページ）。

お手入れについて

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- お手入れの際は、必ず電源を切って画面をオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本機のディスプレイパネル表面は、やわらかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面にキズがつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、やわらかい布を軽く水で薄めた中性洗剤に湿らせ、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、パネルの表面にキズがつくおそれがありますのでご注意ください。）
- パネルの表面にほこりがついた場合は、市販の防塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。
- パネルの保護のため、ほこりのついた布や洗剤、化学ぞうきんなどは使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

蛍光管について

本機に使用している蛍光管には寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、お客様センターへお電話いただくか、または当社ホームページよりお問い合わせください。

さくいん

英数

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

最新の商品情報やサポート情報は、ホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden.jp/

安全に関するご注意

ご使用の前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

- 水、湿気、ホコリ、油煙等の多い場所には設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- けがの原因となることがありますので、テレビは転倒防止の処置をしてください。
- テレビよりも小さな台には置かないでください。また、台の耐荷重量についても必ずご確認ください。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。 **http://www.uniden.jp/support/manualdl.html**

愛情点検 ご使用のテレビの点検を！

〈熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることがあります。〉

このような症状はありませんか

●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像が時々消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、音や映像が消えない。
●内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ず＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにご相談ください。

保証書に関するお願い

●保証書にはお買い上げ日をご記入の上、配送時の伝票と共に大切に保管してください。
●保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。
●補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

注意事項

●地上デジタル放送を受信するためには対応したUHFアンテナが必要です。BS・110度CSデジタル放送を受信するためには対応したパラボラアンテナが必要です。
設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。電器店やアンテナ設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。
●CATVの受信は、サービスが行われている地域でのみ受信が可能です。また、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要になります。
なお、有料放送や地上・BS・110度CSデジタル放送をご覧になるときは、ホームターミナル（セットトップボックス）が必要です。
地上デジタル放送がパススルー方式で送信されている場合は、本機のアンテナ端子に接続して受信することもできます。詳しくはCATV会社にご相談ください。
●マンションなど集合住宅での共同受信の場合、詳しくは管理組合または管理会社等にご確認ください。
●本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
●液晶テレビは、「ジー」という表示パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
●液晶テレビは、微細な画素の集合で表示しています。ごく一部に画素が光らなかったり、常時点灯する画素などがあることがありますので、あらかじめご了承ください。
●ワイド画面テレビは、各種の画面サイズ切換機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
●ワイド画面テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面モード切換機能（パノラマモード）などを利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
●ライフルタイプやガン（銃）タイプ のコントローラーを使用するシューティングゲームなどは、構造上本機では使用できないことがあります。
また、ゲームによっては動きの早いシーンにおいて反応が遅れることがあります。詳しくはゲームおよびコントローラーの取扱説明書をご覧ください。
●赤外線コードレスマイクやコードレスヘッドホンなどの赤外線通信機器と同時にご使用になられる場合は、これらの機器にノイズ等の障害を与えることがあります。
●テレビの配置状況によっては近隣のAMラジオ等にノイズ等の影響を与える場合があります。
●HDMIは新しいインターフェースです。そのため、接続する機器によってはつながりにくかったり、電源の入切が必要になる場合があります。
HDMI、HDMIロゴ、及びHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI LicensingLLCの商標、又は登録商標です。
●接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
●国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
●本機に接続された電話回線を通じて、クイズ番組の投票など双方向サービスを利用する場合、電話料金はお客様のご負担となります。
●お知らせや購入履歴、データ放送のポイントなどデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
●本機はARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
●商品の仕様およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。
●お客様から弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
●ユニデン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
●電話受付時間は、諸般の事情により予告無く変更する場合があります。電話受付は、年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。

デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信エリアは、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

2000 2003 2006 2011
地上デジタルテレビ放送
地上アナログテレビ放送 2011/7までに終了
ＢＳデジタルテレビ放送
ＢＳアナログテレビ放送 2011までに終了

＜ユニデンダイレクト＞お客様センター

当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

●商品のご注文 **0120-012-123**
●サポートダイヤル **0120-20-20-70**

＜ユニデンダイレクト＞ホームページ **http://www.uniden-direct.jp/**

TL20DX11/TL27DX1/TL32DX11/TL37DZ1/TL42DZ1
取扱説明書

発 行 日： 2008年1月 第1版
ユニデン株式会社
〒104-8512 東京都中央区八丁堀2-12-7
http://www.uniden.co.jp/